

令和 **6** 年度

大学入学者選抜に係る
大学入学共通テスト

受験案内

出願
期間

令和5年
9月25日(月)
～ 10月5日(木) (消印有効)
※ 出願期間後の出願は一切受け付けません。

試験
期日

令和6年
1月13日(土)・14日(日)

★ 受験に際し、病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮を希望する場合は、受験上の配慮の申請が必要です。
この「受験案内」の15～17ページをよく読み、「受験上の配慮案内」を入手してください。
大学入試センターでは、受験上の配慮に関する事前相談を随時受け付けています。

この「受験案内」は、大学の入学手続が終わるまで大切に保管してください。



独立行政法人 大学入試センター

はじめに

大学入学共通テストを受験するに当たり、必ずこの冊子を精読し、出願手続や試験の制度について十分に理解した上で出願してください。

1 出願期間と受験教科の事前登録

出願期間は、令和5年9月25日(月)～10月5日(木)(消印有効)です(→p.11)。

また、大学入学共通テストを受験するに当たっては、受験教科等について出願時に登録する必要があります(→p.13)。

登録を正しく行わないと、希望する教科等を受験することができません。

2 登録内容の確認

大学入試センターは、出願書類を受理した後、確認はがき(出願受理通知)を10月25日(水)までに届くように送付します。確認はがきは、大学入試センターに出願が受理されたことを通知するとともに、志願票記入事項のうち、受験教科等の特に重要な登録内容を記載したものです。受領後は直ちに登録内容に誤りがないかを確認してください(→p.27)。

万一、登録内容に誤りがある場合や、志願票への記入誤り等により登録内容の訂正が必要となった場合は、所定の手続をしてください(→p.27)。

なお、確認はがきが10月25日(水)までに届かない場合は、10月26日(木)以降速やかに、必ず志願者本人が大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

3 受験票等の送付

大学入試センターは、出願を受理した志願者に対して、「受験票」、「写真票」、「成績請求票」を「受験上の注意」とともに、12月14日(木)までに届くように送付します。

また、登録内容を記載しますので、再度、確認してください(→p.31)。

受験票等が12月14日(木)までに届かない場合は、12月15日(金)以降速やかに、必ず大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に再発行を申請してください(→p.36)。

4 「英語(リスニング)」で使用するイヤホンの確認

「英語(リスニング)」ではICプレーヤーを使用し、イヤホンで音声問題を聴取しながら解答します。リスニング受験希望者は、出願する前にイヤホンが耳に装着できるかを確認し、イヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時にイヤホン不適合措置を申請してください(→p.44)。試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、対応できません。

なお、イヤホンについては、在学する高等学校等や大学入学共通テスト利用大学で実際に試すことができます。

5 障害等のある方への受験上の配慮

大学入学共通テストの受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について配慮を希望する場合は、受験上の配慮の申請が必要です(→p.15)。

大学入試センターでは、大学入学共通テストの受験上の配慮に関する事前相談を随時受け付けています。受験上の配慮について疑問点(「どんな配慮をしてもらえるか?」、「申請するには何が必要か?」、「何からはじめればいいのか?」)等があれば、できるだけ早めに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に問い合わせてください。

希望する配慮事項によっては、審査に時間がかかる場合もあるため、受験上の配慮については、出願前から申請を受け付けます。出願前申請受付期間は令和5年8月1日(火)から9月22日(金)(消印有効)です。受験上の配慮を希望する場合は、できるだけ出願前に申請してください(→p.17)。

この申請がなければ各試験場では受験上の配慮を行いませんので、申請し忘れないよう、十分注意してください。

6 試験時間中の注意事項

携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の電子機器類は，受験する教科・科目の試験室への受験者入室終了時刻（受験票（→p.31）等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示。）までに，必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に，監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。また，試験開始前に，机の上に置けるもの以外の所持品はかばん等にしまってください（→p.47）。

試験時間中，監督者が試験室内の巡視を行います。その際，監督者が顔を上げるよう指示することや，マスクや眼鏡，帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。

また，不正行為に見えるような行為は，監督者が注意する場合があります。

＜ 不正行為を行った場合の取扱い ＞（→p.49）

- ・ その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。
- ・ 受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします。
- ・ 不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

7 その他

大学入学共通テストを受験するに当たり，今後，必要な連絡事項が生じた場合は，受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示するほか，大学入試センターのホームページ（→裏表紙）において情報を提供しますので，確認してください。

目 次

A 試験概要

1	令和6年度大学入学共通テスト実施日程	2	ページ
2	出題教科・科目等	3	
3	試験期日・試験時間割	5	

B 出願

1	出願資格と証明書類	6	
2	出願期間と出願方法等	11	
3	受験教科の事前登録	13	
4	障害等のある方への受験上の配慮	15	
5	成績通知	18	
6	志願票の記入方法	19	
	受験教科等の登録<Q&A>	23	
7	検定料及び成績通知手数料の払込方法	25	

C 出願後

1	確認はがき（出願受理通知）～登録内容の確認・訂正方法	27	
2	受験票・写真票・成績請求票	31	
3	試験場の指定	33	
4	出願後の各種手続	35	
5	出願後の不慮の事故等による受験上の配慮	39	

D リスニング

1	リスニングの概要	40	
2	リスニング受験上の注意	40	
3	リスニングの進行	41	
4	ICプレーヤーの操作体験	43	
5	イヤホンが装着できない場合	44	
6	解答時間中の事故等と再開テスト	45	

E 試験

1	受験に当たっての主な注意事項	46	
2	追試験及び再試験	51	

F 試験実施後

1	正解・平均点等の発表	52	
2	得点の調整	52	
3	段階表示	53	
4	試験成績の大学への提供方法	54	

G その他

1	過年度の大学入学共通テストの成績を利用する選抜	55	
2	志望大学に確認すること	55	
3	個人情報への取扱い	56	

H 高等学校等コード表

1	高等学校，中等教育学校，特別支援学校，高等専門学校	57	
2	高等学校卒業程度認定試験等，外国の学校等，文部科学大臣の指定した者，認定，在外教育施設，専修学校の高等課程	75	

A
試験概要

B
出願

C
出願後

D
リスニング

E
試験

F
試験実施後

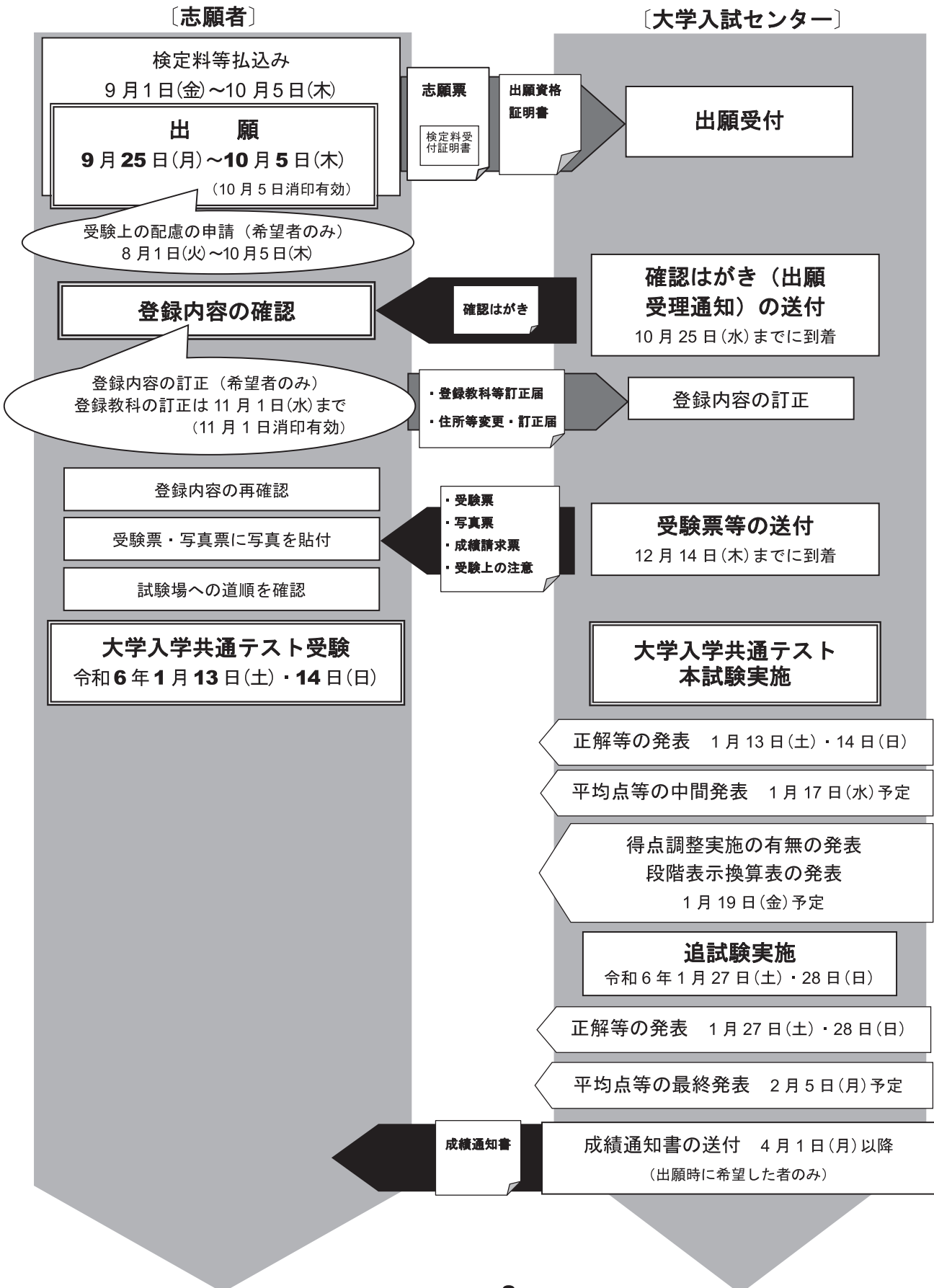
G
その他

H
高等学校等コード表



試験概要

1 令和6年度大学入学共通テスト実施日程



2 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (注1)
国語		「国語」	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する(注2)。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「倫理、政治・経済」は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない(注3)。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (注4)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数学	①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	70分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」※ 「情報関係基礎」※	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 「簿記・会計」は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。 「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) (注5)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」		A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (注4)

外国語	「英語」※ 「ドイツ語」※ 「フランス語」※ 「中国語」※ 「韓国語」※ (注6)	「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とし、【リーディング】と【リスニング】を出題する。 なお、【リスニング】には、聞き取る英語の音声をもとに2回流す問題と、1回流す問題がある。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	「英語」 【リーディング】 80分(100点) 【リスニング】 (「英語」のみ) 60分(うち解答時間30分) (100点) 「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 【筆記】 80分(200点)
-----	--	---	--	--

大学入試センターのホームページ(➡裏表紙)に「令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」等を掲載しています。

- (注1) 国語及び外国語(「英語」を除く。)は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、リーディングとリスニングに試験時間を分けます。
- (注2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文)(1問50点)、漢文(1問50点)」とします。
 なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注3) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」, 「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せを指します。
- (注4) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。
- (注5) 「理科①」については、1科目のみの受験は認めません。
- (注6) 外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とします。
 なお、「英語」以外の外国語を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

3 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (注 1, 2)
令和 6 年 1 月 13 日(土)	地理歴史 公 民	「世界史 A」 「世界史 B」 「日本史 A」 「日本史 B」 「地理 A」 「地理 B」 「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	2 科目受験 9:30～11:40 (注 3) 1 科目受験 10:40～11:40 (注 3)
		国 語	「国語」 13:00～14:20
	外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	「英語」 【リーディング】 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 【筆記】 15:10～16:30 ----- 「英語」 【リスニング】 17:10～18:10
1 月 14 日(日)	理 科 ①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	9:30～10:30 (注 4)
	数 学 ①	「数学 I」 「数学 I・数学 A」	11:20～12:30
	数 学 ②	「数学 II」 「数学 II・数学 B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	13:50～14:50
	理 科 ②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	2 科目受験 15:40～17:50 (注 3) 1 科目受験 16:50～17:50 (注 3)

(注 1) 試験室への入室終了時刻については、受験票(→p.31)等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示します。

(注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻(17:10)までに入室していない場合は受験することができません。

(注 3) 「地理歴史、公民」及び「理科②」については、登録した科目数(1科目又は2科目)によって試験開始時刻が異なります。「2科目受験する」と登録した場合は、試験当日に1科目のみを受験する(1科目だけ受験を取りやめる)ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度(「地理歴史、公民」は 9:50、「理科②」は 16:00)までに入室していないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第1解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。

なお、第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は、トイレ等で一時退室することはできません(→p.46)。

(注 4) 「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答してください。1科目のみの受験は認めません。

B 出 願

1 出願資格と証明書類

令和6年度大学入学共通テストに出願できる者は、大学入学共通テスト利用大学へ入学を志願し、下表のいずれかの出願資格に該当する者です。提出が必要な資格証明書は、下表のとおりです。

* 出願資格及び出願資格を証明する書類について疑問がある場合は、出願期間の前にはできるだけ早く大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に問い合わせてください。

特に外国の学校等の資格で出願する志願者は、出願資格が認められない場合がありますので、出願前に出願資格の有無を確認したい場合には9月12日(火)まで(必着)に必要な書類を大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵送してください(注1-1)。

出
B
願

出 願 資 格		資 格 証 明 書
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を令和6年3月に卒業見込みの者		不要（学校長が一括証明）
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を卒業した者		卒業証明書（原本） * 出身学校長が発行するもの * 発行年月日は問わない * 調査書・成績証明書は不可 * 旧姓（名）の卒業証明書を使用する場合は、「婚姻により（旧姓）から（現姓）になった」などのように、姓（名）が変わった理由を証明書の余白に記載すること
「高等専門学校」第3学年を修了した者又は令和6年3月に修了見込みの者		第3学年修了若しくは修了見込みの証明書又は卒業証明書（原本） * 高等専門学校長が発行するもの
外国の学校等	外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者（注1-1）	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma など）のコピー * 出身学校長が発行するもの * 国や学校によっては、これ以外の書類の提出を求められることがある
	上欄に準ずる者（注1-2～1-5）	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類のコピー * 当該教育施設の長が発行するもの 又は検定の合格証書のコピー * 検定試験実施機関の長が発行するもの
在外教育施設（注2）	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者	修了（卒業）又は修了（卒業）見込みの証明書（原本） * 当該教育施設の長が発行するもの
専修学校の高等課程を卒業（修了）した者又は卒業見込み（修了見込み）の者（注3）		卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの証明書（原本） * 専修学校長が発行するもの

	出 願 資 格	資 格 証 明 書
文部科学大臣の指定した者 *昭和23年文部省告示	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者 国際バカロレア資格取得者（注4） アビトゥア資格取得者（注5） バカロレア資格（フランス共和国）取得者（注6） GCEA レベル資格取得者（注7） 国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者（注8） その他文部科学大臣の指定した者（旧制諸学校出身者等）（注9）	卒業又は卒業見込みの証明書（原本） *学校長が発行するもの 資格証書のコピー ① 修了又は修了見込みの証明書（原本） ② 当該教育施設が認定を受けた証明書（原本） *いずれも当該教育施設の長が発行するもの 卒業（修了）証明書又はこれに準ずるもののコピー
高等学校卒業程度認定試験等（問合せ等（注10）） *令和6年3月31日までに18歳に達するもの	高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者 *科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、高等学校等で令和6年3月31日までに修得見込みの者（注11） 令和5年度第2回高等学校卒業程度認定試験に出願している者	合格証書のコピー又は合格証明書（原本） *合格証明書は文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係に請求し入手すること *発行年月日は問わない 高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書（原本） *文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係に請求し入手すること 又は次の①及び② ① 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の「科目合格通知書」のコピー ② 試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書（原本） *①は文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係に、②は在学する学校にそれぞれ請求し入手すること 令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出願資格申告書 *この申告書は令和5年度第2回高等学校卒業程度認定試験の受験案内に記載されている様式を使用し、作成すること
高等学校卒業程度認定審査（問合せ等（注12）） *令和6年3月31日までに18歳に達するもの	いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者	合格証書のコピー又は合格証明書（原本） *合格証明書は文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付企画係に請求し入手すること *発行年月日は問わない
いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの		「その後に入学者とする大学」において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたことを証明する書類（原本） *当該大学の学長が発行するもの
大学において、個別の入学資格審査による認定を受けた者（注13-1~13-3）		認定を受けたことを証明する書類のコピー *当該大学の学長が発行するもの

(注 1-1) 外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、我が国における大学入学資格が認められない場合がありますので、出願前に出願資格の有無を確認したい場合には、9月12日(火)まで(必着)に次のものを大学入試センター事業第1課(➡裏表紙)に郵送し(封筒の表面に「出願資格照会」と朱書すること。)、出願資格の有無を照会してください。

①当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類(Diplomaなど)のコピー

②氏名、生年月日、住所、電話番号、小学校～高等学校までの履歴を記入した用紙(様式自由)

(注 1-2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの(大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。)

(注 1-3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は次表の上欄及び中欄に掲げる施設における研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大学に入学するために必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程を修了したもの

上欄	埼玉県, 大阪府, 福岡県の各中国帰国者定着促進センター
中欄	北海道, 山形県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 長野県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 広島県, 福岡県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 長野県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 広島県, 福岡県の各中国帰国者自立研修センター

(注 1-4) 外国において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定する次の教育課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者

* 次の教育課程については、適用開始日以降に修了した者に限ります。

外国の学校の課程の名称	適用開始日
ウクライナのポウナ・ザハリナ・セレドニャ・オスヴィタの課程	平成3年5月23日
ウズベキスタン共和国のシコーラ・スレードゥネヴァ・オブラゾヴァーニャの課程	平成29年3月15日
スーダン共和国のアル・マドラサ・アッ・サーナウィーヤの課程	平成4年1月1日
ベラルーシ共和国のトレーチヤ・ストゥペニ・オーブシェヴォ・スレードネヴォ・オブラゾヴァーニャの課程	平成23年1月13日
ペルー共和国のエスクエラ・セクンダリアの課程	明治34年3月9日
ミャンマー連邦共和国のアテタン・アスィン・ピンニャーイェーの課程(旧ビルマ連邦社会主義共和国のアテタン・アスィン・ピンニャーイェーの課程を含む。)	昭和48年10月1日
ロシア連邦のオブシェエ・スレドニェエ・オブラゾヴァーニエの課程	平成21年10月6日

* 以上の教育課程については、今後追加されることがあります。

(注 1-5) 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた次の教育施設の当該課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	エスコーラ・インテルクートゥラウ・ユニフィカーダ・アルコ・イリス, コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	インドネシア学校東京, カナディアンインターナショナルスクール, 東京韓国学校中・高等部(旧東京韓国学校), 東京国際フランス学園(旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・トウキョウ及び旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京柳北校), 東京中華学校
神奈川県	東京横浜独逸学園, 横浜中華学院
岐阜県	コレージオ・イザキ・ニュートン
静岡県	エスコーラ・アウカンセ, エスコーラ・ノヴァ・エラ, セントロ・エドカショナル・イ・プロフィシオナリザンチーCEPブラジル
愛知県	コレージオ・ブラジルージャポネ・プロフェソール・シノダ
三重県	ニッケン学園

* 次の教育施設については、平成18年2月6日以降に修了した者に限ります（平成18年2月5日以前に修了した者は注1-3の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。）。

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
茨城県	インスチット・エドゥカレ（旧エスコラ・ピンゴ・デ・ジェンテ），エスコラ・エ・クレシエ・ド・グルーボ・オピソン
群馬県	インスチット・エドカシヨナル・ジェンテ・ミウダ，インスチット・エドカシヨナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ，エスコラ・パラレロ各種学校（旧エスコラ・パラレロ太田校），伯人学校イーエーエス太田（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル太田校）
山梨県	アルプス学園（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル山梨校）
長野県	コレージョ・エ・クレシエ・サウ・エ・ルス，長野日伯学園（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル長野校）
岐阜県	セントロ・エドカシヨナル・ノヴァ・エターパ，ソシエダーデ・エドカシヨナル・ブラジリアン・スクール，HIRO 学園エスコラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ（旧エスコラ・ブラジレイラ・プロフェソール・カワセ）
静岡県	エスコラ・ブラジル（旧エスコラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ），伯人学校イーエーエス浜松（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール浜松校）
愛知県	エスコラ・サンパウロ，エスコラ・ネクター，伯人学校イーエーエス豊田（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール豊田校），伯人学校イーエーエス豊橋（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール豊橋校），伯人学校イーエーエス碧南（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール碧南校）
三重県	伯人学校イーエーエス鈴鹿（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール鈴鹿校）
滋賀県	日本ラチーノ学院（旧コレージョ・ラティーノ・デ・シガ）

* 次の教育施設については、平成23年4月1日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
東京都	インディア・インターナショナル・スクール・イン・ジャパン

* 次の教育施設については、平成24年4月1日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
東京都	グローバルインディアンインターナショナルスクールジャパン

* 次の教育施設については、平成25年1月31日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ブラジル課程に限る。）

* 次の教育施設については、平成26年12月8日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	各種学校インストット エドゥカシヨナル ティー・エス レクレアソン

* 次の教育施設については、令和3年4月15日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
東京都	エベレストインターナショナルスクールジャパン

* 次の教育施設については、注1-3の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。

所在地	令和4年2月15日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ペルー課程に限る。）

* 以上の教育施設については、今後追加されることがあります。

* コレージョ・ピタゴラス・ブラジル真岡校（栃木県），エスコラ・パラレロ伊勢崎校（旧エスコラ・パラレロ東村校）（群馬県），セントロ・エドカシヨナル・カナリーニョ（埼玉県），セントロ・デ・アプレンジザー・ジェン・ロゴス（埼玉県），エスコラ・パラレロ伊那校（長野県），インスチット・エドカシヨナル・エマヌエウ，エスコラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ（静岡県），エスコラ・ニッポ・ブラジレイラ（静岡県），コレージョ・アウレオ（愛知県），京都韓国中学（京都府），セントロ・エドカシヨナル・ノヴォ・ダマスコ（長野県），コレージョ・ピタゴラス・ブラジル浜松校（静岡県），コレージョ・ドン・ボスコ（愛知県），コレージョ・ピタゴラス・ブラジル愛知校（愛知県）を修了した者は大学入試センター事業第1課（➔裏表紙）まで照会してください。

(注 2) 早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校, スイス公文学園, 立教英国学院, 帝京ロンドン学園, 慶應義塾ニューヨーク学院, 上海日本人学校及び如水館バンコクの各高等部がこれに該当します(平成26年7月9日現在)。

下記の教育施設は, 在外教育施設としての認定を取り消された又は指定を解除されているが, 取り消された又は解除された日以前に修了した者は, 文部科学大臣が指定した者に該当します。

教育施設の名称	認定を取り消された又は指定を解除された日
ブレーメン国際日本学園	平成 11 年 12 月 17 日
英国四天王寺学園	平成 13 年 3 月 31 日
英国暁星国際学園	平成 14 年 8 月 14 日
駿台アイルランド国際学校	平成 15 年 3 月 31 日
アルザス成城学園	平成 17 年 3 月 31 日
テネシー明治学院	平成 19 年 3 月 31 日
東海大学付属デンマーク校	平成 20 年 3 月 31 日
ドイツ桐蔭学園	平成 24 年 3 月 31 日
フランス甲南学園トゥレーヌ高等部(旧トゥレーヌ甲南学園)	平成 25 年 3 月 31 日
サウスクイーンズランドアカデミー	平成 25 年 3 月 31 日

出 B
願

(注 3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者

(注 4) 国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

(注 5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

(注 6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

(注 7) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者

(注 8) 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACSI, NEASC, CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者

* 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は, 今後追加されることがあります。

* 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体に認定されているかどうかは, 在学(卒業)している教育施設に確認してください。

(注 9) その他, 旧制の諸学校の出身者や, 小・中・高等学校の教諭の普通免許状を有する者など昭和23年文部省告示第47号で指定された者です。

(注 10) 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定について不明な点があれば, 文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係(03-5253-4111(代表))に問い合わせてください。

(注 11) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し, 残りの試験科目に相当する科目について, 在学している高等学校, 高等専門学校, 海外において高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定した在外教育施設又は文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で, 令和6年3月31日までに修得する見込みの者がこれに該当します。

(注 12) 高等学校卒業程度認定審査について不明な点があれば, 文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付企画係(03-5253-4111(代表))に問い合わせてください。

(注 13-1) 大学において, 個別の入学資格審査により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 令和6年3月31日までに18歳に達するもの

(注 13-2) 個別の入学資格審査による認定を受けたことを証明する書類は, 大学入学共通テスト出願時に必要なもので, 必ず大学入学共通テストの出願までに, 志望大学に個別の入学資格審査の申請をして交付を受けておいてください。個別の入学資格審査の申請方法は, 各大学が定めているので, 志望大学に問い合わせてください。

(注 13-3) 個別の入学資格審査による認定の効力は, 当該入学資格審査を行う大学(学部・学科等ごとに個別の入学資格審査が実施される場合には, 当該学部・学科等)にのみ及びます。

2 出願期間と出願方法等

(1) 出願期間

令和5年9月25日(月)～10月5日(木)

(10月5日消印有効。10月6日以降の消印の出願は一切受理しません。10月6日以降に到着したもののうち消印がないものについては、10月5日までに郵便局の窓口に出されたことが確認できるものに限り受理します。)

(2) 出願方法

① 出願書類の提出方法は下表のとおりです。

区 分	出 願 書 類	提 出 方 法
高等学校*又は中等教育学校を卒業見込みの者 * 特別支援学校の高等部を含む。 * 高等学校卒業程度認定試験合格(合格見込みを含む。)などの資格で出願する場合は、下の「上記以外の者」により直接出願すること。	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書 (→p.25) 志願票に貼り付ける。「日附印」が押印されていること。	【学校経由出願】 左記の出願書類を在学している学校に提出すること。 * 通信制課程の場合も在学している高等学校に提出すること。
上記以外の者 * 上記学校の卒業生や他の出願資格の者	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書 (→p.25) 志願票に貼り付ける。「日附印」が押印されていること。 ウ 出願資格を証明する書類 (→p.6) 封筒から出して、書類のみを志願票と一緒に提出すること。「開封無効」等の表示がある場合でも大学入学共通テストの出願に当たっては、封筒から出すこと。	【個人直接出願】 左記の出願書類を、この受験案内に添付されている封筒を使用して、 必ず「簡易書留郵便」で郵送 すること。 * 「簡易書留郵便物受領証」は大切に保管しておくこと。

※1 出願書類について到着確認をしたい場合は、簡易書留郵便の引受番号により、郵便局の郵便追跡サービスで確認してください。大学入試センターへの電話等による到着確認はできません。

※2 大学入試センターへの直接持参による出願は一切受理しません。

② 出願書類に不備がある場合は、大学入試センターから電話、郵便等により連絡します。出願書類に不備があり解消されない場合は、出願を受理できないことがあります。

③ 受理した出願書類は返却しません。

④ 出願方法について疑問がある場合は、出願期間の前に、できるだけ早く大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に問い合わせてください。

(3) 出願の確認

大学入試センターは出願書類を受理したのち、10月25日(水)までに届くように**確認はがき**(出願受理通知)を送付します。なお、高等学校等(通信制課程を除く。)を卒業見込みの者は在学している学校に送付します(→p.27)。この確認はがきは、出願の受理及び受験教科等の登録内容を通知するものですので、記載内容に誤りがないかを必ず確認してください。

なお、**確認はがき**が10月25日(水)までに届かない場合は、10月26日(木)以降速やかに、必ず志願者本人が大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

(4) その他

志願者本人の責めに帰すことができない理由により、出願期間内に出願できなかった場合(出願書類を在学する学校に提出した、又は郵便局の窓口に出したが、大学入試センターに到着しなかった場合)は、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)まで申し出てください。

3 受験教科の事前登録

志望大学の利用教科・科目の確認

大学入学共通テストを利用する各大学は、入学志願者が大学入学共通テストにおいて解答すべき教科・科目や、その成績の入学志願者選抜における取扱いなどを、それぞれ定めています。志望大学の募集要項等をよく確認の上、大学入学共通テストの出願及び受験をしてください。

(1) 受験教科及び科目数等の登録

大学入学共通テストの受験教科等については、あらかじめ、以下の事項を出願時に、志願票により登録する必要があります。

- ① 受験教科
- ② 地理歴史，公民の受験科目数
- ③ 理科の科目選択方法
- ④ 「数学②」及び「外国語」の別冊子試験問題の配付希望

これらの登録を正しく行わないと、希望する教科・科目を受験することができませんので、下記(2)に示す注意事項をよく理解した上で、正しく登録してください。

登録した内容については、10月25日(水)までに受け取る確認はがきにより確認してください。万一、志願票への記入誤り等により、登録内容の訂正が必要となった場合は、大学入試センターに訂正を届け出てください(→p.27)。

なお、確認はがきが10月25日(水)までに届かない場合は、10月26日(木)以降速やかに、必ず志願者本人が大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

(2) 受験教科及び科目数等の登録に当たっての主な注意事項

以下の注意事項は、出願に当たって特に注意が必要な事項です。詳細については、「6 志願票の記入方法」(→p.19)をよく読んで、志願票に記入してください。

① 受験教科

ア 大学入学共通テストの出題教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の6教科です。試験当日は、登録していない教科は受験できません。万一、登録していない教科を受験してもその教科は採点されません。

イ 地理歴史及び公民については、同一の試験時間に実施しますので、出願時には、この2教科を「地理歴史、公民」の1教科として登録します。

ウ 数学については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けて実施します。数学を受験教科として登録した場合は、「数学①」及び「数学②」の両方又はいずれか一方のみ受験することも可能です。

エ 理科については、試験時間を「理科①」と「理科②」のグループに分けて実施します。

② 地理歴史，公民の受験科目数

地理歴史，公民を受験する場合は、受験する科目数(1科目又は2科目)を登録します。

受験科目は、登録した受験科目数に従って、試験当日に地理歴史と公民を合わせた10科目の中から選択し、解答することができます。

※ 登録した科目数を試験当日に変更することはできません。

③ 理科の科目選択方法

理科を受験する場合は、A～Dの科目選択方法のうちから一つ選んで登録します。

グループ	出題科目	科目選択方法
理科①	「物理基礎」「化学基礎」	A：理科①から2科目を選択
	「生物基礎」「地学基礎」	B：理科②から1科目を選択
理科②	「物理」「化学」	C：理科①から2科目及び理科②から1科目を選択
	「生物」「地学」	D：理科②から2科目を選択

受験科目は、登録したA～Dの科目選択方法に従って、試験当日に選択し、解答することができます。

※ 登録した科目選択方法を試験当日に変更することはできません。

※ 「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答します。なお、解答する科目の順序と時間の使い方は自由です。

④ 「数学②」及び「外国語」の別冊子試験問題の配付を希望する場合

「数学②」の「簿記・会計」「情報関係基礎」及び「外国語」の「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」を受験する場合は、出願時に、別冊子試験問題の配付希望を登録する必要があります。

なお、別冊子試験問題の配付を希望した場合でも、「数学②」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」や「外国語」「英語（リーディング）」の問題冊子も併せて配付されますので、これらの科目を選択解答することもできます。

4 障害等のある方への受験上の配慮

(1) 大学入学共通テストの受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、(2)のような配慮を希望する志願者は、令和5年10月5日(木)までに申請してください。大学入試センターは、志願者からの申請を審査の上、受験上の配慮事項を決定します。決定に当たっては、個々の症状や状態等を総合的に判断します。

この申請がなければ、各試験場では受験上の配慮を行いません。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等の使用を希望する場合も、受験上の配慮の申請が必要となりますので、申請し忘れのないよう十分に注意してください。

なお、(3)に示すものは、受験上の配慮の申請は不要です。

受験上の配慮の対象となる者や配慮の具体的な内容、申請方法等は「**受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕**」に掲載しています。入手方法については、(5)を参照してください。

(2) 区分別受験上の配慮事項の例

各区分の代表的な配慮事項の例は下表のとおりです。申請の際は必ず「**受験上の配慮案内**」を参照し、必要な配慮事項を申請してください。

区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 (例)
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> 点字解答・文字解答 試験時間の延長 拡大文字問題冊子(14ポイント・22ポイント)の配付 拡大鏡等の持参使用 窓側の明るい座席を指定 照明器具の持参使用又は試験場側での準備
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳士等の配置 注意事項等の文書による伝達 座席を前列に指定 補聴器又は人工内耳の装用 リスニングの免除
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> チェック解答・代筆解答 試験時間の延長 介助者の配置 試験室を1階に設定 トイレに近い試験室で受験 車椅子、杖の持参使用 試験場への乗用車での入構
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者 	<ul style="list-style-type: none"> 試験室を1階に設定 杖の持参使用 座席を試験室の出入口に近いところに指定 別室の設定
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> 試験時間の延長 チェック解答 拡大文字問題冊子(14ポイント・22ポイント)の配付 注意事項等の文書による伝達
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外で配慮を必要とする者 	<ul style="list-style-type: none"> トイレに近い試験室で受験 座席を試験室の出入口に近いところに指定 別室の設定

(3) 受験上の配慮を申請せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮を申請せずに使用できます。

- ① サポーター，テーピング，包帯，湿布，ギプス，眼帯，コルセット
※ 試験時間中に着脱する場合は，監督者に申し出て許可を得てください。

- ② 白杖
※ 白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は申請が必要です。

以下の③については，試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

- ③ 座布団，クッション，タオル，ひざ掛け，手袋（多汗症用を含む。）
※ 病気・負傷や障害等のために試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は，
受験上の配慮の申請をすることもできます。
※ 英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

(4) 受験上の配慮に関する事前相談

大学入試センターでは，大学入学共通テストの受験上の配慮に関する事前相談を随時受け付けています。受験上の配慮について疑問点（「どんな配慮をしてもらえるか？」，「申請するには何が
必要か？」，「何からはじめればいいのか？」）等があれば，できるだけ早めに大学入試センター
事業第1課に問い合わせてください。

〈お問い合わせ先〉

独立行政法人大学入試センター事業第1課

TEL 03-3465-8600

(9:30~17:00 土・日曜，祝日，12月29日~1月3日を除く)

FAX 03-3485-1771

(電話での問合せが難しい障害等のある方専用FAX)

(5) 「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」の入手方法

受験上の配慮を希望する志願者は、できるだけ早い時期に「受験上の配慮案内」を次の①又は②の方法により入手してください（大学等では配付していません。）。申請に必要な申請書等の様式は、「受験上の配慮案内」にあります。

① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）からダウンロードできます。申請書や診断書等の様式をダウンロードしてそのまま使用することができます。

https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r6/r6_hairyo.html



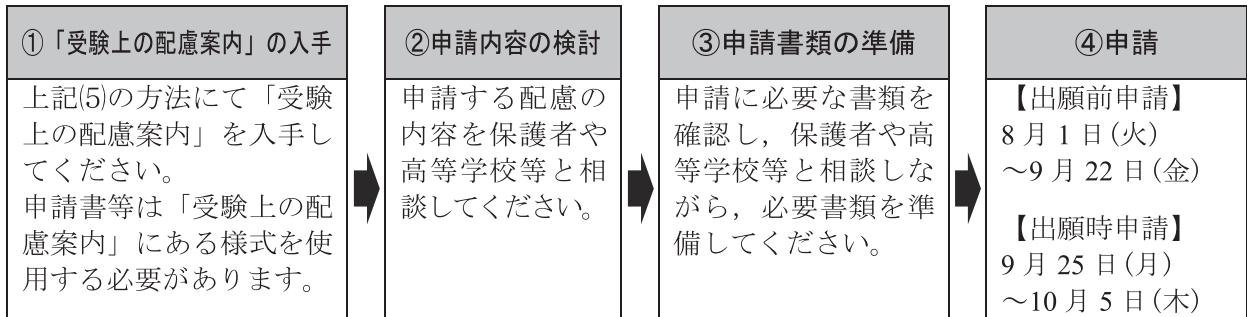
② 次のア・イを封筒（表面に「受験上の配慮案内請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課に郵便で請求してください。

ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等

イ 返信用封筒（角形2号：縦33.2cm・横24cm、表面に現住所・氏名を記入し、1冊の場合は390円分の切手を貼る。）又は返信用レターパック（表面に現住所・氏名を記入する。）

※ 2冊以上希望する場合は大学入試センター事業第1課に問い合わせてください。

【「受験上の配慮案内」入手後の受験上の配慮の申請の流れ（例）】



(6) 出願前申請

希望する配慮事項によっては審査に時間がかかる場合もあるため、受験上の配慮については、出願前から申請を受け付けます。できるだけ早めに申請してください。

出願前申請受付期間：8月1日(火)～9月22日(金)まで（9月22日消印有効）

出願前に審査結果の通知を希望する場合は、9月4日(月)（消印有効）までに申請してください。この場合、審査結果は、9月下旬に「受験上の配慮事項審査結果通知書」により通知します。

なお、この出願前申請を行っただけでは出願をしたことにはなりません。出願する場合には、この手続のほかに、必ず出願期間内（9月25日～10月5日）に志願票等の出願書類を提出してください（→p.11）。

(7) 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮の申請

出願時までに申請する受験上の配慮のほか、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病、症状の悪化等）のための受験上の配慮の申請があります（→p.39）。

この申請は、申請する理由が出願後に発生したときに限り行うことができます。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。

(8) 志望大学との事前相談

障害等の種類と程度によっては、志望大学の個別学力検査等や修学上（入学後の大学生活等）の配慮が必要となることがありますので、別途、志望大学が定めている期日までに相談してください。

5 成績通知

大学入試センターは、出願時の希望に基づき、成績通知書を送付します。

(1) 成績通知の内容

「受験した科目名」「試験日」「得点（科目別得点）」「段階表示（科目別）」（→p.53）を成績通知書により通知します。

なお、「国語」については出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点を、「英語」については、「リーディング」「リスニング」別の得点及び段階表示を通知します。

「地理歴史、公民」及び「理科」については、次のとおりです。

ア 「地理歴史、公民」で2科目を受験した場合又は「理科②」で2科目を受験した場合は、解答順に「第1解答科目」、「第2解答科目」別の得点及び段階表示を通知します。

イ 「理科①」を受験した場合は、選択した科目別の得点及び段階表示を通知します。併せて、合計点及び段階表示も通知します。

(2) 成績通知書の送付時期と送付先

出願時に成績通知を希望した志願者には、令和6年4月1日(月)以降に成績通知書を志願票に記入された住所に書留郵便で送付します。成績通知書が4月10日(水)までに届かない場合は、必ず志願者本人が大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に電話で問い合わせてください。

なお、大学入学共通テスト終了後に成績通知書の送付先を変更する場合は、令和6年3月1日(金)まで（必着）に「住所等変更・訂正届」（→p.37）を記入した上で、封筒（表面に「住所等変更・訂正届」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵送してください。

また、成績通知書は再発行できませんので、大切に保管しておいてください。

* 書留郵便は、配達時に不在の場合、郵便局に一定期間（おおむね1週間）保管されます。郵便局が受取方法等を記した配達時不在連絡票を郵便受けに入れていきますので、直接、郵便局に問い合わせ受けてください。
なお、郵便局での保管期間を過ぎると大学入試センターに返送されてしまいますので注意してください。

* 令和6年3月2日(土)以降は送付先の変更ができませんので、成績通知書が届くように郵便局で転居・転送サービスの手続きをしてください。

(3) 成績通知の申込方法

成績通知を希望する志願者は、出願時に成績通知手数料（800円）を検定料と併せて払い込み（→p.25）、志願票の「⑱成績通知」欄の「希望する」を○で囲んでください（→p.21）。

なお、出願後に成績通知の希望の有無を変更することはできません。

6 志願票の記入方法

記入上の注意

- ① 志願票は、必ず志願者本人が黒のボールペンで丁寧に記入してください（病気・負傷や障害等のために記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。）。
- ② 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に、修正内容が明確に分かるように修正してください。その際、文字がマスからはみ出ても構いません。訂正印は不要です。
- ③ 記入の済んだ志願票は第Ⅰ面・第Ⅱ面ともにコピーを取り、出願の際には原本を提出してください（志願票のコピーは、大切に保管しておいてください。）。

出
願

(1) 志願票（第Ⅰ面）各欄への記入

○ 令和6年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト 志願票 第Ⅰ面										
出願期間：令和5年9月25日（月）～10月5日（木）（10月5日消印有効）										
※折らずに封筒に入れてください。	① 高等学校等コード表 （高等学校等コード表）による記入		出身学校名		② 障害等のある方への 受験上の配慮 （配速申請書・診断書等が必要） 希望する		学校記入欄			
							③ 整理番号 学校単位に一連番 を記入してください。			
出願資格 （p.20の「出願資格」 欄の記入方法を参照 してください。）	④ 課程			⑤ 学科						
	1 全日制 2 定時制 3 通信制			1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 左記以外の学科						
	⑥ 卒業見込者・卒業者の別			⑦ 卒業した年						
	1 卒業見込者 2 卒業者			S昭和 H平成 R令和						
上記以外の出願資格 の者のみ記入	⑧ その他の出願資格									
	1 外国の学校等		2 在外教育施設		3 専修学校高等課程		4 文部科学大臣 の指定した者		5 高卒認定試験 大学入学資格検定 高卒認定審査	
氏 名	⑨ カタカナ記入（姓と名の間を1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。）									
	⑩ 漢字等記入（かい書で丁寧に記入してください。姓と名の間を1マスあけてください。）									
⑪ 性別 1 男 2 女										
⑫ 生年月日										
年 月 日										
S昭和 H平成										
⑬ 電話番号（自宅・下宿・寮）										
⑭ 携帯電話（本人）										
⑮ 郵便番号										
★出願資格が「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者」（高等学校の通信制課程の卒業見込みの者を除く。）以外に該当する者は、こちらに記入されている現住所により試験場を指定します。なお、出願後に現住所を変更しても、試験場の変更はできません（p.33）。										
現住所	⑯ 漢字・数字等記入									
	都道府県		市区郡		町村		町・丁目 番地 アパート・ マンション名 号室 様方			

第Ⅱ面（裏面）も必ず記入してください。第Ⅰ面の記入だけでは、志願票の記入を終えたことになりません。

高等学校等コード・出身学校名

57ページ以降の「高等学校等コード表」を確認し、出身学校のコードを記入してください。

- * 通信制の学校については、その学校の本部のある都道府県の欄に記載されています。
- * 出身学校が他校と統合された場合や学校名が変更となった場合は、変更後のコードを記入してください。
- * 出身学校が廃校となった場合は、その学校の所在していた都道府県の「上記以外の高等学校等」のコードを記入してください。
- * 高卒認定試験及び大学入学資格検定、高卒認定審査の「出身学校名」は、「高卒認定」と記入してください。

【希望者のみ】障害等のある方への受験上の配慮

受験上の配慮を申請する場合のみ、「希望する」を○で囲んでください。受験上の配慮の出願前申請（→p.17）を行った場合も○で囲んでください。なお、出願期間（9月25日～10月5日）に受験上の配慮を申請する場合は、受験上の配慮申請書や診断書等（様式は「受験上の配慮案内」にとじ込み）の必要書類を必ず志願票に添付して出願してください。

- * 出願前申請を行った場合は、受験上の配慮出願前申請済届（→「受験上の配慮案内」p.47）を添付してください。

出願資格

- 高等学校又は中等教育学校卒業見込・卒業者の記入欄
「④課程」「⑤学科」「⑥卒業見込者・卒業者の別」…それぞれ該当するものを○で囲んでください。
「⑦卒業した年」……………卒業者のみ記入してください。
- 上記以外の出願資格者の記入欄
「⑧その他の出願資格」……………該当する資格を○で囲んでください。

氏名・性別・生年月日

「⑨カタカナ氏名」…姓と名の間を1マスあけ、濁点等は1マスを使用して記入してください。

- * 氏名に小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。【「ショウ」→「シヨウ」など】
- * 氏名が記入欄に入りきらない場合は、入るところまで記入してください。

「⑩漢字等氏名」…できるだけ常用漢字で記入してください（JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、確認はがき等でその文字が置き換えられるか、カタカナのみ表示されます。）。

- * 氏名が記入欄に入りきらない場合は、入るところまで記入してください。

「⑪性別」……………男・女のどちらかを○で囲んでください。

「⑫生年月日」…該当する年号を○で囲み、年月日を記入してください。年月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を記入してください。

【置き換えられる文字の例】

邊	→	邊	朗	→	朗	祐	→	祐
濱	→	濱	角	→	角	菜	→	桑
廣	→	廣	臺	→	臺	遙	→	遙
高	→	高	崎	→	崎	ヲ	→	オ

電話番号

自宅等の固定電話及び志願者本人の携帯電話の電話番号を、ハイフンを入れて左詰めで記入してください（どちらか一つしかない場合は、片方のみの記入でも構いません。）。

現住所

現在、居住している住所を漢字等で記入してください（住民票に記載された住所である必要はありません。）。漢字については、できるだけ常用漢字で記入してください（JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、確認はがき等でその文字が置き換えられるか、カタカナで表示されます。）。学校や予備校、ホテル等の住所、私書箱、郵便局留は使用できません。マンション等に居住している場合は、建物名、部屋番号まで記入してください。

- * 出願資格が「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者」（高等学校の通信制課程の卒業見込みの者を除く。）以外に該当する者は、志願票に記入されている現住所により試験場を指定します。なお、出願後に現住所を変更しても、試験場は変更できません（→p.33）。

(2) 志願票（第Ⅱ面）各欄への記入

出 B
願

令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 志願票 第Ⅱ面

⑰受験教科（p.22の「受験教科」欄の記入方法を参照してください。）
受験する・しないにかかわらず、必ず該当する選択肢の一つを選び、その記号を正しく記入してください。

【希望者のみ】⑱別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

教科名	選択記入欄	
国語	A…受験する ×…受験しない	<input type="checkbox"/>
地理歴史 公民	A…1科目受験する B…2科目受験する ×…受験しない	<input type="checkbox"/>
数学	A…受験する ×…受験しない	<input type="checkbox"/>
理科	A…理科①を受験する B…理科②を1科目受験する C…理科①を受験、理科②を1科目受験する D…理科②を2科目受験する ×…受験しない	<input type="checkbox"/>
外国語	A…受験する ×…受験しない	<input type="checkbox"/>

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

★受験教科数の計算について

- ・選択記入欄に記入した「×」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。
- ・例えば、選択記入欄に上から順番に「A、B、×、D、A」と記入した場合、受験教科数は、「×以外のアルファベットが四つ」で、合計4教科となります。

数学②のうち次の科目
「簿記・会計」
「情報関係基礎」

希望する

外国語のうち次の科目
「ドイツ語」
「フランス語」
「中国語」
「韓国語」

希望する

⑲成績通知

【成績通知】の希望の有無に○をしてください。

成績通知	
希望する	希望しない
○	○

払込金額

受験教科数	成績通知	
	希望する	希望しない
3教科以上	18,800円	18,000円
2教科以下	12,800円	12,000円

【該当者のみ】

「イヤホン不適合措置申請書」貼り付け欄

★リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないよう、のりでしっかり貼り付けてください。（受験案内44ページ参照）

検定料払込書のうちEと表示された「検定料受付証明書」を、右の太枠の中にはがれないよう、のりでしっかり貼り付けてください。

★必ず金融機関の受付窓口で払い込んでください。

★E「検定料受付証明書」に日附印が押されていることを確認してください。

E 検定料受付証明書貼り付け欄

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

受験教科 (→p.3, p.13)

受験教科等の登録に当たっては、あらかじめ志望大学の募集要項等を確認した上で、全ての教科について、それぞれ該当するアルファベットか「X」を選択し選択記入欄に記入してください。

選択記入欄に正しく記入されていない場合（無記入又は選択肢にない文字を記入等）は、その教科を「受験しない」教科として登録します。

なお、選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。この欄の記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、志願票の記入どおりに登録できないことがあります(→p.26, p.29)。

教科名	記入方法
国 語	・受験する → 「A」と記入
数 学	・受験しない → 「X」と記入 ※ 数学を「受験する」(「A」)として登録した場合は、「数学①」と「数学②」の両方が登録されますが、「数学①」のみ又は「数学②」のみの受験も可能です。
外 国 語	
地理歴史 公 民	・1 科目受験する → 「A」と記入 ・2 科目受験する → 「B」と記入 ・受験しない → 「X」と記入
理 科	・理科①を受験する → 「A」と記入 ・理科②を1科目受験する → 「B」と記入 ・理科①を受験、理科②を1科目受験する → 「C」と記入 ・理科②を2科目受験する → 「D」と記入 ・受験しない → 「X」と記入

【希望者のみ】別冊子試験問題の配付 (→p.14)

数学及び外国語で、下表の科目の受験を希望する場合は、「希望する」を○で囲んでください。

なお、別冊子試験問題の配付を希望した場合でも、数学②の「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」や、外国語の「英語(リーディング)」の問題冊子も併せて配付されますので、これらの科目を選択解答することもできます。

教科(グループ)	配付希望の登録が必要な科目
数 学 ②	「簿記・会計」「情報関係基礎」
外 国 語	「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」

成績通知 (→p.18)

成績通知を希望する場合は「1 希望する」を、希望しない場合は「2 希望しない」を○で囲んでください。

なお、この欄が無記入である場合又は記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、**検定料受付証明書の払込金額に従って**、成績通知希望の有無を登録します。

【該当者のみ】イヤホン不適合措置申請書 (→p.44)

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」をはがれないよう、のりでしっかり貼り付けてください。

検定料受付証明書 (→p.25)

検定料を払い込み、日附印の押された**E**「検定料受付証明書」をはがれないよう、のりでしっかり貼り付けてください。

検定料の払込金額は、下表のとおり「受験教科数」と「成績通知の希望の有無」により異なりますので、正しい金額を払い込んでください。

	成績通知を希望する	成績通知を希望しない
3教科以上受験	18,800円	18,000円
2教科以下受験	12,800円	12,000円

受験教科等の登録 <Q & A>

Q1 出願時に「地理歴史、公民」を「受験しない」として登録しましたが、「1科目受験する」に訂正することはできますか？

A 11月1日(水)まで(消印有効)に届け出れば、受験教科等の登録内容を訂正することができます。

大学入試センターは、出願後、受験教科等の登録内容が記載された「確認はがき」を10月25日(水)までに届くように送付しますので、登録された受験教科等を訂正する必要がある場合は、11月1日(水)まで(消印有効)に、大学入試センターに「登録教科等訂正届」を郵送してください(→p.27)。

なお、この訂正期限を過ぎた場合、登録教科の訂正は一切できませんので注意してください。

* 確認はがきが10月25日(水)までに届かない場合は、10月26日(木)以降速やかに、必ず志願者本人が大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

* 氏名、連絡先等を訂正する場合は、27ページに従って届け出てください。

Q2 試験当日に、受験教科として登録されていない教科を受験することができますか？

A できません。

万一、試験当日に登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。

Q3 「受験する」として登録されている教科の受験を、試験当日になって取りやめることはできますか？

A 試験時間単位で受験を取りやめることができます。

受験を取りやめた場合、その試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0点として採点されることはありません。

Q4 数学を「受験する」として登録されている場合、「数学①」と「数学②」のどちらか片方だけ受験することもできますか？

A できます。

受験しない試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0点として採点されることはありません。

Q5 「地理歴史、公民」を「2科目受験する」として登録しましたが、試験当日に1科目のみを受験することはできますか？

A できません。

「地理歴史、公民」を「2科目受験する」と登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて一つの試験時間としているので、試験当日に1科目のみを受験する(1科目だけ受験を取りやめる)ことはできません。「2科目受験する」と登録した場合、必ず2科目分を採点(前半の60分を第1解答科目、後半の60分を第2解答科目として採点)します。

同様に、「1科目受験する」と登録した場合、試験当日に2科目を受験することもできません(「理科②」も同様です。)

なお、「地理歴史、公民」の受験科目は、登録した受験科目数に従って、試験当日に地理歴史と公民を合わせた10科目の中から選択し、解答することができます(→p.13)。

Q6 「理科①」は2科目解答することになっていますが、1科目だけを解答することはできますか？

A できません。

「理科①」は試験時間 60 分で必ず 2 科目を選択解答してください。
なお、解答する科目の順序と時間の使い方は自由です。

Q7 「理科①」と「理科②」を受験する場合、同一名称を含む科目を組み合わせで選択することはできますか？

A できます。

大学入学共通テストでは「理科①」と「理科②」において、同一名称を含む科目の組合せ（例えば、「物理基礎」と「物理」など）で選択解答することができます。ただし、大学によっては、認めていない場合もありますので、志望大学の募集要項等で、「理科①」と「理科②」の科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。

なお、「地理歴史、公民」においては、同一名称を含む組合せで 2 科目を選択することはできません（→p.3）。

Q8 理科の科目選択方法（A～D）を試験当日に変更することはできますか？

A できません。

また、科目選択方法で「理科②」を 2 科目受験すると登録した場合、2 科目分の解答時間を合わせて一つの試験時間としているので、試験当日に 1 科目のみ受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。

なお、「理科①」と「理科②」の受験科目は、登録した A～D の科目選択方法に従って、試験当日に選択し、解答することができます（→p.14）。

Q9 高等学校では履修していない科目を選択し、解答することはできますか？

A できます。

大学入学共通テストでは、高等学校での履修の有無により受験科目を制限することはありません。ただし、大学によっては、認めていない場合もありますので、志望大学の募集要項等で、大学入学共通テストの科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。

7 検定料及び成績通知手数料の払込方法

(1) 検定料等の払込金額

払込金額は、受験教科数、成績通知（手数料 800 円）の希望の有無により、下表の 4 種類があります。

試験当日に受験する教科と成績通知の希望の有無をあらかじめ決めた上で、正しい金額を払い込んでください。

区 分	成績通知を希望する場合	成績通知を希望しない場合
3 教科以上を受験する場合	18,800 円	18,000 円
2 教科以下を受験する場合	12,800 円	12,000 円

なお、受験教科数を数える際に、地理歴史と公民については、この 2 教科を合わせて 1 教科として数えますので注意してください。

例えば、国語、地理歴史、公民の 3 教科を受験する場合でも、出願時においては、地理歴史と公民を合わせて 1 教科として数えますので、払い込む検定料等は、「2 教科以下を受験する場合」の「12,800 円」又は「12,000 円」のいずれかとなります。

(2) 払込期間

令和 5 年 9 月 1 日(金)～10 月 5 日(木)（出願期間は 9 月 25 日～10 月 5 日）

(3) 払込場所

「ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口」又は「払込書裏面記載の銀行の受付窓口」
必ず受付窓口で払い込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

(4) ゆうちょ銀行・郵便局及び「払込書」裏面記載の銀行の本・支店間を利用した場合の振込手数料は、大学入試センターが負担します。それ以外の金融機関（信用金庫・農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

※ ゆうちょ銀行・郵便局では、令和 4 年 1 月 17 日から、各種払込みサービスの利用にあたって、現金で支払う場合は、1 件につき 110 円の料金が加算されています。受取人が振込手数料を負担する場合であっても、加算料金は払込人が支払うことになっているため、加算料金 110 円については志願者本人の負担となります。

(5) 払込方法（下記の払込書イメージ図を参照）

① この受験案内に添付されている 4 種類の払込書の中から、受験教科数や成績通知の希望の有無に応じた金額の払込書を選び、その払込書を使用してください（使用しなかった払込書は、登録教科の訂正の際に使用することがありますので、大切に保管しておいてください。）。

② 払込書は五つの部分からなっており、それぞれの「志願者」欄には、**A～E** の記号が印刷されています。**A～E** の※印の欄に志願者本人の住所、氏名等を記入してください。

〔払込書イメージ図〕

志願票に貼り付けるのはこの部分です。

※ A	※ B	※ C	※ D	※ E
------------	------------	------------	------------	------------

- ③ 銀行（ゆうちょ銀行を除く。）で払い込む場合は、振込先欄に銀行名、支店名、口座番号を記入してください。
- ④ 払込後は、日附印の押された **E**「検定料受付証明書」を志願票に貼り付けてください。
D「振替払込請求書兼受領証」は本人の控えとして大切に保管しておいてください。

(6) 出願に際しての注意事項

- ① 志願票（第Ⅱ面）の貼り付け欄に払込済の **E**「検定料受付証明書」を貼り付けた後に、志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい志願票に記入し直す場合でも、検定料等は二重に払い込まないでください。その場合は、払込済の **E**「検定料受付証明書」を志願票ごと切り取って、新しい志願票に貼り付けてください。
- ② 払込済の **E**「検定料受付証明書」が志願票に貼り付けられていない場合は、出願を受理しません。
- ③ **E**「検定料受付証明書」を紛失した場合は、代わりに **D**「振替払込請求書兼受領証」を志願票に貼り付けてください。
- ④ 成績通知の希望の有無については、志願票に貼り付けられた **E**「検定料受付証明書」の払込金額と志願票の記入に相違があった場合、**E**「検定料受付証明書」の払込金額に従って登録します。
- ⑤ 志願票に貼り付けられた **E**「検定料受付証明書」の払込金額と志願票に記入された受験教科数に相違があった場合は、志願票の記入どおりに登録できない場合がありますので、必ず払込金額と志願票に記入した登録教科数が一致していることを確認してください。相違があった場合は、確認はがきに表示されますので、所定の訂正手続きをしてください（→p.27）。

(7) 検定料等の返還請求

- ① 検定料等の返還請求ができるのは、次のア又はイの場合です。出願が受理されている場合、大学入学共通テストを受験しなくても払込済の検定料等は返還しません。
 - ア 検定料等を払い込んだが大学入学共通テストに出願しなかった（出願書類等を大学入試センターに提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合
 - イ 検定料等を二重に払い込んだ場合（「登録教科等訂正届」の提出に伴い検定料等を再度払い込んだ場合を含む（→p.27）。）
- ② 返還請求の方法
大学入試センターのホームページ（→裏表紙）から「検定料等返還請求書」をダウンロードして必要事項を記入し、**E**「検定料受付証明書」（既に **E**「検定料受付証明書」を大学入試センターに提出している場合は **D**「振替払込請求書兼受領証」）を貼り付けて大学入試センター財務課（〒153-8501 東京都目黒区駒場 2-19-23）へ郵送してください。返還時期は、令和6年2月中旬以降を予定しています。



1 確認はがき(出願受理通知)～登録内容の確認・訂正方法

確認はがきは、出願が受理されたことを通知するとともに、登録された志願票の記入事項のうち、特に重要な事項を表示したものです。

(1) 確認はがきの送付

大学入試センターは出願書類を受理したのち、10月25日(水)までに届くように確認はがき(出願受理通知)を送付します。なお、高等学校等(通信制課程を除く。)を卒業見込みの者は在学している学校に送付します。

確認はがきが10月25日(水)までに届かない場合は、10月26日(木)以降速やかに、必ず志願者本人が大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

(2) 登録内容の確認

確認はがきの受領後は、保管してある志願票のコピーと照らし合わせて、出願時の登録内容と確認はがきの表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

(3) 登録内容の訂正方法

確認はがきの表示内容に誤りがある場合、受験教科等を訂正する場合及び検定料と登録教科数に相違がある場合(→p.29)は、次の①と②の手順に従って、訂正内容を大学入試センターに届け出てください。

なお、作成した「住所等変更・訂正届」及び「登録教科等訂正届」はコピーを取り、大切に保管しておいてください。

① 必要書類の作成

ア 氏名、生年月日、連絡先等を訂正する場合

「住所等変更・訂正届」(→p.37)に訂正内容を記入し、確認はがきのコピーを貼り付けてください。

イ 登録教科等及び別冊子試験問題の配付希望を訂正する場合

訂正が必要な項目について、28ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んで、「登録教科等訂正届」(→p.30)に訂正のある箇所のみ記入し、確認はがきのコピーを貼り付けてください。

また、登録教科の訂正に伴い受験教科数が「2教科以下から3教科以上」又は「3教科以上から2教科以下」に変更となる場合は、正しい金額の払込書を使用し、再度検定料等を払い込み、「登録教科等訂正届」の所定欄に**E**「検定料受付証明書」と確認はがきのコピーを貼り付けてください(→p.30)。

なお、既に払い込んだ検定料等は返還請求することができますので、「検定料等返還請求書」(→p.26)を同封してください。

ウ 検定料と登録教科数に相違がある場合(払込金額が誤っている場合)

29ページの(5)検定料と登録教科数に相違がある場合の取扱いをよく読んで、正しい金額の払込書を使用し、再度検定料等を払い込み、「登録教科等訂正届」の所定欄に**E**「検定料受付証明書」と確認はがきのコピーを貼り付けてください。

また、併せて登録教科等及び別冊子試験問題の配付希望を訂正する場合は、上記イに従って訂正を行ってください。

② 「住所等変更・訂正届」、 「登録教科等訂正届」の提出

ア 下表の送付方法に従って、11月1日(水)まで(消印有効)に、大学入試センターに郵送してください。

区 分	提 出 方 法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者(ただし、下欄②の者を除く。)	必要書類を在学している学校に提出すること(学校単位で取りまとめて大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送)。
① 受験案内に添付された封筒で個人出願した者 ② 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	必要書類を封筒に入れて、大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送すること(封筒の表面に「登録教科等訂正」と朱書すること)。

イ 大学入試センターは、届出内容に従って登録内容を訂正しますので、誤った記入をしないよう注意してください。訂正された内容は、12月14日(木)までに到着する受験票(→p.31)で再度確認してください(確認はがきの再送付は行いません。)

ウ 必要書類に不足等がある場合や、11月2日(木)以降の消印の場合は、訂正は一切受け付けません。志願者本人の責めに帰すことができない理由により、訂正届提出期限までに届出ができなかった場合(訂正届を期限前に在学する学校に提出(高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者を除く。))又は郵便局の窓口に出したが、大学入試センターに到着しなかった場合は、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)まで申し出てください。

(4) 確認はがきの主な表示項目と訂正に当たっての注意点

【確認はがきの表示例】

- ① フリガナ、氏名、生年月日、性別、連絡先等
- ② 成績通知
- ③ 受験上の配慮
- ④ イヤホン不適合措置
- ⑤ 試験実施期日
- ⑥ 登録教科
- ⑦ 別冊子試験問題

高等学校等コード	13440G 西多摩		
フリガナ氏名	栗原 駿場 未来		
生年月日	平成17年10月02日	性別	女
連絡先等	042-395-999× 〒193-0013 東京都駒場市大学町 5-19-23 レジデンス大学町803		
成績通知	あり	受験上の配慮	希望しない
イヤホン不適合措置	なし	試験実施期日	令和6年1月13日・14日
登録教科	国語	A	受験する
	地理歴史、公民	B	2科目受験する
	数学	X	受験しない
	理科	C	理科①を受験、理科②を1科目受験する
	外国語	A	受験する
別冊子試験問題	数学②	なし	外国語 あり

「地理歴史、公民」「理科②」
受験科目数の訂正について

試験当日に、登録した受験科目数を変更することはできません。例えば、「2科目受験する」として登録した場合、試験当日に1科目のみを受験することはできません。

受験科目数の訂正を希望する場合は、訂正届提出期限までに「登録教科等訂正届」を大学入試センターに郵送してください。

出 C
願 後

表示項目	表示内容についての説明	訂正に当たっての注意点
① フリガナ氏名、生年月日、性別、連絡先等	登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられる(→p.20)か、カタカナで表示される(氏名の場合はカタカナのみ表示される)ことがあります。登録の誤りではありません。	【必要書類】「住所等変更・訂正届」(→p.37) 性別が誤っている場合は、試験場の指定に影響がありますので、速やかに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。 出願後に現住所等を変更した場合も、「住所等変更・訂正届」を提出してください。
② 成績通知	成績通知手数料(800円)を払い込んだ場合は、「あり」と表示されます。	出願時に申し出た内容を変更することはできません。 万一、確認はがきの表示内容が誤っている場合は、大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。
③ 受験上の配慮	受験上の配慮を申請した場合は、「希望する」と表示されます。	—
④ イヤホン不適合措置	リスニングのイヤホン不適合措置を申請した場合は、「あり」と表示されます。	—
⑤ 試験実施期日	試験実施期日が表示されます。	—
⑥ 登録教科	各教科について「受験する」又は「受験しない」と表示されます。 地理歴史、公民を受験する場合は、「1科目受験する」又は「2科目受験する」と表示されます。 理科を受験する場合は、科目選択方法が表示されます。 検定料と登録教科数に相違がある場合は、(5)の表中「確認はがきの登録教科欄」の表示内容とその理由に記載のある内容が表示されます(→p.29)。	【必要書類】「登録教科等訂正届」(→p.30) ・訂正する教科のみ該当する選択肢を一つ選び、記入してください。別冊子試験問題の配付の希望を訂正する場合は、希望の有無に○をつけてください。 ・訂正の必要がない箇所は、記入しないでください。記入がない箇所については、確認はがきの表示内容のとおり登録されます。 ・全ての教科を「受験しない」とする訂正はできません。 ・検定料等を再度払い込んだとしても、日附印の押されたE「検定料受付証明書」が貼り付けられていないと、訂正は受け付けません。なお、既に払い込んだ検定料等は返還請求することができますので、「検定料等返還請求書」(→p.26)を同封してください。
⑦ 別冊子試験問題	「数学②」「外国語」で別冊子試験問題の配付を希望した場合は、「あり」と表示されます。	—

(5) 検定料と登録教科数に相違がある場合の取扱い

確認はがきの登録教科欄に下表のア又はイの表示がある場合は、検定料と登録教科数に相違があります。訂正が必要な場合は、27ページの(3)登録内容の訂正方法及び28ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んで必ず訂正してください。訂正を行わない場合、下表の「訂正しなかった場合の登録方法」のように登録され、受験を希望する教科・科目を受験できない場合があります。

【確認はがきの表示例】

高等学校等 コード	134406 西多摩		
フリガナ 氏名	ヤマシキ 駒場 未来		
生年月日	平成17年10月02日	性別	女
連絡先等	042-395-999× 〒193-0013 東京都駒場市大学町 5-19-23 レジデンス大学町803		
成績通知	あり	受験上の配慮	希望しない
作付不適合措置	なし	試験実施期日	令和6年1月13日・14日
登録教科	国語	A	受験する
	地理歴史、公民	X	受験しない
	数学	A	受験する
	理科	X	受験しない
	外国語	X	受験しない
検定料が不足しています			
別冊子試験問題	数学②	なし	外国語 なし

検定料と登録教科数に相違がある場合は、この部分に下表のア又はイが表示されます。

確認はがきの登録教科欄の表示内容とその理由	訂正しなかった場合の登録方法
<p>ア 検定料が不足しています</p> <p>志願票の⑰受験教科欄に3教科以上を「受験する」と記入したが、2教科以下の検定料を払い込んだ場合に表示されます。</p>	<p>志願票の⑰受験教科欄に「受験する」と記入した教科のうち、上から2教科で登録します。</p> <p>例えば、志願票に国語、数学、外国語を「受験する」と記入した場合、国語と数学のみ登録します。</p>
<p>イ 登録教科数より多く検定料を払い込んでいます</p> <p>志願票の⑰受験教科欄に2教科以下を「受験する」と記入したが、3教科以上の検定料を払い込んだ場合に表示されます。</p>	<p>志願票の⑰受験教科欄に「受験する」と記入した教科のとおり登録します。</p> <p>例えば、志願票に国語、数学を「受験する」と記入した場合、国語と数学を登録します。</p>

2 受験票・写真票・成績請求票

(1) 受験票等の送付

大学入試センターは、出願を受理した志願者に対して、(2)の見本のような「受験票」、「写真票」、「成績請求票」を「受験上の注意」とともに、12月14日(木)までに届くように、下表のとおり送付します。

受験票等が12月14日(木)までに届かない場合は、12月15日(金)以降速やかに、必ず大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に再発行を申請してください(→p.36)。

区 分	送 付 方 法
高等学校を卒業見込みの者など学校を經由して出願した者(ただし、下欄②の者を除く。)	在学している学校に送付し、学校から志願者本人に配付されます。
① 受験案内に添付された封筒で個人出願した者	志願者本人に直接送付します。
② 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	

(2) 受験票・写真票・成績請求票の受領後の取扱い

【見本】

①受験票

②写真票

令和6年度 **大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票**

試験場名 東西大学第1試験場 試験場コード 200011

所在地 東京都目黒区駒場2-19-23

道 京王電鉄井の頭線「駒場東大前駅」西口下車、徒歩5分

問合せ 東西大学 試験当日以外の電話 03-3465-8600 試験当日の電話 03-3465-8600

この受験票は大学の入学手続きまで必要です。

写真 (4cm×3cm) 写真の裏に氏名を記入の上、あらかじめしっかりと貼っておいてください。

受験番号 1001X 期行回数 1 性別 女 平成17年10月02日生

試験実施期日 令和6年1月13日・14日

受験教科名	備考
1 地理歴史、公民	○ 登録科目数2
日 国 語	-
目 外 国 語	○ 別冊子配付あり
理 科 ①	-
2 数 学 ①	○
日 数 学 ②	○ 別冊子配付あり
目 理 科 ②	○ 登録科目数1

令和6大学入学共通テスト写真票 (0000)

写真 (4cm×3cm) 写真の裏に氏名を記入の上、あらかじめしっかりと貼っておいてください。

性別 女

(氏名)

200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来

1 この写真票は、受験票とともに必ず持参してください。
2 この写真票は、試験時間内に回収します。試験当日、監督者の指示で切り離していただきます。

推薦	総合	前	後	公中	2 幕
令和6共通テスト統括部事業 国公立推薦型選抜用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 国公立総合型選抜用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 国公立前期日程用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 国公立後期日程用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 公立大学中期日程用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 国立大学第2次募集用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来
令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来
令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来
令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来	令和6共通テスト統括部事業 私立大学・公私立短期大学用 200011 - 1001X - 1 (C7A' 54) 駒場 未来

③成績請求票

①受験票

ア 受験票には、試験場に関する事項のほか、受験教科に関する下表の事項が表示されますので、登録内容と受験票の表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

なお、訂正届を提出した場合は、訂正した内容のとおり表示されているかを必ず確認してください。

事 項	表 示 内 容
受験教科名	受験できる教科（登録されている教科）には、受験教科名欄に「○」が表示されています（「—」が表示されている教科を受験することはできません。） なお、数学は「数学①」と「数学②」を合わせて表示しますので、「○」があれば両方又はいずれか一方のグループを受験することができます。
登録科目数 （地理歴史、公民、 理科②のみ）	「地理歴史、公民」及び「理科②」は、備考欄に登録科目数が表示されています。例えば、「地理歴史、公民」の備考欄に「登録科目数2」と表示されているのは、「地理歴史、公民の中から2科目を受験する」という意味です。なお、試験当日に登録された科目数の変更はできません。
別冊子試験問題	「数学②」又は「外国語」を受験する者で、出願時に別冊子試験問題の配付を希望した場合のみ、備考欄に「別冊子配付あり」と表示されています。

イ 万一、記載内容に誤りがある場合は、受験票を再発行する必要がありますので、直ちに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に電話で連絡してください。

ウ 受験票には写真（詳細は「受験上の注意」を参照）を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。

また、受験票は、各大学の個別学力検査等及び入学手続の際にも必要となりますので、大学入学共通テスト終了後も大切に保管しておいてください。

②写真票

写真票には受験票と同一の写真を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。写真票は、最初に受験する試験時間に試験室内で監督者が回収します。

③成績請求票

ア 成績請求票は、大学入学共通テスト利用大学に出願する際、当該大学の出願書類に貼り付けて提出するものですので、大学に出願するまで大切に保管しておいてください。

イ 成績請求票は、必ず受験票と同封されているものを使用してください（コピーした成績請求票は使用できません。）

ウ 成績請求票は下表のとおり、使用区別に7種類のものがあります。成績請求票を使用する際は、必ず各大学の募集要項等により確認してください。

成績請求票の種類	枚数	使用区分（出願する大学）
推薦 国公立推薦型選抜用	1枚	大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を実施する国公立大学(注1)
総合 国公立総合型選抜用	1枚	大学入学共通テストを課す総合型選抜を実施する国公立大学
前 国公立前期日程用	1枚	前期日程で試験を実施する国公立大学(注2)
後 国公立後期日程用	1枚	後期日程で試験を実施する国公立大学(注2)
公中 公立大学中期日程用	1枚	中期日程で試験を実施する公立大学(注2)
2募 国公立第2次募集用	1枚	欠員補充第2次募集を実施する国公立大学
私・短 私立大学・公私立短期大学用	18枚	大学入学共通テストを利用する私立大学・公私立短期大学及び専門職大学・専門職短期大学(注3)

(注1) 国公立大学の学校推薦型選抜は、大学入学共通テストを課すかどうかにかかわらず、一つの大学・学部にはしか出願できません。

(注2) 国公立大学前期・後期日程及び公立大学中期日程は、それぞれ一つの大学・学部にはしか出願できません。

(注3) 専門職大学・専門職短期大学については、必ず大学の募集要項等により提出する成績請求票の種類を確認してください。

3 試験場の指定

- (1) 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする(8)の「試験地区区分表」に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し指定します。なお、指定された試験場は変更できません。
- (2) 大学入試センターが指定する試験場は、下表のとおり出願資格によって異なります。

出 願 資 格	指定する試験場	備 考
高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和6年3月に卒業見込みの者 *ただし、下欄②を除く。	出願時に在学している学校が所在する試験地区内の試験場	試験地区は、原則として都道府県を単位とします。 ただし、北海道、岩手県、埼玉県、神奈川県、兵庫県、島根県、鹿児島県、沖縄県については、(8)の「試験地区区分表」で定めるとおりとします。
① 上欄以外の者 ② 高等学校の通信制課程を令和6年3月に卒業見込みの者	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	

- (3) 試験場は、必ずしも各志願者の現住所の最寄りの試験場が指定されるとは限りません。例えば、下の図のような場合、志願者 B さんが最寄りの試験場①ではなく、少し遠い試験場②に指定されるということがあります。試験場①でも遠い志願者 A さんが、更に遠くの試験場②に指定されないようにするために、このようなことが起こります。



- (4) 同じ高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業見込みの者は同じ試験場に指定するよう考慮します。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間に受験する科目数の組合せ、試験場のトイレ等の設備、病気・負傷や障害等のために受験上の配慮を申請した志願者への対応等の理由により、同じ学校の志願者が別々の試験場に指定されることがあります。
- (5) 試験場を指定する際に考慮される志願者数の分布等は毎年変化しますので、特定の住所や学校の志願者が、毎年同じ試験場に指定されるとは限りません。例えば、ある学校の志願者が昨年度まで継続して試験場①に指定されていたとしても、今年度は試験場②に指定されるということがあります。
- (6) 住所等変更・訂正届（→p.37）により現住所を変更した場合でも、試験場の変更はできません。
- (7) 各志願者の試験場は、受験票に記載して通知します。指定された試験場以外では、受験できません。

(8) 試験地区区分表（試験地区名）

北海道石狩振興局地区	埼玉県	島根県 (鹿足郡は山口県へ)
〃 空知総合振興局地区	〔草加市，蕨市，川口市の一部（卒業者等）は東京都へ〕	岡山県
〃 上川総合振興局・宗谷総合振興局・留萌振興局地区	千葉県	広島県
〃 後志総合振興局地区	東京都	山口県 (島根県の一部を含む。)
〃 檜山振興局・渡島総合振興局地区	〔埼玉県の一部，神奈川県の一部を含む。〕	徳島県
〃 胆振総合振興局・日高振興局地区	神奈川県	香川県
〃 十勝総合振興局地区	〔川崎市，横浜市鶴見区・青葉区・都筑区は東京都へ〕	愛媛県
〃 根室振興局・釧路総合振興局地区	新潟県	高知県
〃 オホーツク総合振興局地区	富山県	福岡県
青森県 (岩手県の一部を含む。)	石川県	佐賀県
岩手県	福井県	長崎県
〔久慈市，九戸郡洋野町・野田村は青森県へ〕	山梨県	熊本県
宮城県	長野県	大分県
秋田県	岐阜県	宮崎県
山形県	静岡県	鹿児島県
福島県	愛知県	〔大島郡与論町は沖縄県那覇地区へ〕
茨城県	三重県	沖縄県那覇地区
栃木県	滋賀県	〔那覇市，うるま市，宜野湾市，浦添市，名護市，糸満市，沖縄市，豊見城市，南城市，国頭郡，中頭郡，島尻郡〕
群馬県	京都府	(鹿児島県の一部を含む。)
	大阪府	沖縄県宮古地区 (宮古島市，宮古郡多良間村)
	兵庫県 (美方郡新温泉町は鳥取県へ)	沖縄県石垣地区 (石垣市，八重山郡)
	奈良県	
	和歌山県	
	鳥取県 (兵庫県の一部を含む。)	

4 出願後の各種手続

(1) 氏名、現住所、電話番号等の変更

下表のとおり、届出内容と時期によって届出に必要な書類が異なりますので、正しい書類に記入した上で、封筒（表面に必ず「住所等変更・訂正届」又は「受験票再発行等申請」と朱書すること。）に入れて郵便で大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に届け出てください。

届出内容	届出の時期	必要な書類
① 氏名、生年月日の変更・訂正 (注1)	11月16日(木)まで(必着)	住所等変更・訂正届(→p.37)
	11月17日(金)以降 (受験票到着後に届け出てください。)	受験票再発行等申請書(→p.38) (申請方法は、(2)に記載しています。)
② 現住所・電話番号の変更・訂正 (注2)	3月1日(金)まで(必着)	住所等変更・訂正届(→p.37)

(注1) 氏名、生年月日の変更・訂正については、次の点に注意してください。

- ・ 11月17日(金)以降に氏名、生年月日についての変更・訂正届が大学入試センターに届いた場合は、受験票の作成・発送作業のため登録内容の修正ができません。受験票到着後に「受験票再発行等申請書」(→p.38)で届け出てください。

(注2) 現住所の変更については、次の点に注意してください。

- ・ 市町村合併等による住所表記の変更の場合は、届出の必要はありません。
- ・ 出願後に現住所を変更しても、試験場は変更できません(→p.33)。
- ・ 11月17日(金)以降に「住所等変更・訂正届」が大学入試センターに届いた場合は、受験票の作成・発送作業のため登録内容の修正ができません。この場合は受験票を志願票に記入された住所に送付します。
- ・ 成績通知を希望する者については、令和6年3月1日(金)(必着)までに「住所等変更・訂正届」を提出できなかった場合、住所の変更ができませんので、成績通知書が届くように郵便局で転居・転送サービスの手続きをしてください。
- ・ 成績通知を希望しない者については、大学入学共通テスト終了後に現住所を変更しても、届出の必要はありません。

(2) 受験票等の再発行, 成績請求票の追加発行, 過年度成績請求票の発行

これらの発行を希望する場合は, 下表のA~Cの届出内容に応じて, 必要な書類を封筒に入れて, 郵便で大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に申請してください(封筒の表面に「受験票再発行等申請」と朱書すること)。

なお, 受験票・写真票の再発行は, 令和6年1月6日(土)~1月21日(日)の間は行いません。この期間に申請があった受験票については, 1月22日(月)から志願者本人あてに送付します。

ただし, 成績請求票のみの再発行・追加発行, 過年度成績請求票の発行は, 上記期間であっても行います。

届出内容	届出上の注意事項	必要な書類
A 再発行 受験票・写真票・成績請求票 (令和6年3月29日(金)必着) ※受験票は令和6年4月19日(金)必着	次のア~オに該当する場合は, 受験票, 写真票, 成績請求票 の全部又は一部を再発行します。 ア 受験票等が, 12月14日(木)までに届かない場合(不着) イ 紛失した場合 ウ 汚損又は破損した場合 エ 記載内容に誤りがあった場合 オ 氏名に変更があった場合 * 再発行した受験票等は, 当初発行したものと用紙の色が異なります。 * 「 <u>現住所・電話番号の変更・誤り</u> 」の場合は, 再発行申請の必要はありません。 <u>現住所変更の届出をしてください(→p.35)</u> 。 * 写真票は, 令和6年1月6日(土)以降は, 再発行しません。 受験票, 写真票, 成績請求票は再発行すると, 最新のもの以外は無効になります。 ただし, 「国公立総合型選抜用成績請求票」「私立大学・公私立短期大学用成績請求票」は, 再発行してもそれまでのものは無効とはなりません。	ア 受験票再発行等申請書 (38ページをコピーしたものに必要事項を記入する。) * <u>大学入学共通テスト終了後に受験票を再発行申請する場合は, 写真欄に写真1枚を貼り付け, 必ず署名すること。</u> イ 返信用封筒 (長形3号:縦23.5cm・横12cm, 表面に現住所・氏名を記入し, 694円分の切手(簡易書留郵便・速達料金を含む。)を貼る。) * <u>受験票等が, 12月14日(木)までに届かない場合(不着)の再発行申請は, 返信用封筒は必要ありません。</u> ウ 当初発行の受験票・写真票・成績請求票 * <u>申請理由が汚損, 破損, 記載内容の誤り又は氏名の変更の場合のみ同封すること。</u>
B 追加発行 国公立総合型選抜用及び私立大学・公私立短期大学用成績請求票 (令和6年3月29日(金)必着)	当初発行枚数である「 国公立総合型選抜用成績請求票 」1枚, 「 私立大学・公私立短期大学用成績請求票 」18枚を超えて必要とする場合は, 追加発行します。	ア 受験票再発行等申請書 (38ページをコピーしたものに必要事項を記入する。) イ 返信用封筒 (長形3号:縦23.5cm・横12cm, 表面に現住所・氏名を記入し, 694円分の切手(簡易書留郵便・速達料金を含む。)を貼る。)
C 過年度成績請求票の発行	過年度(令和3年度から令和5年度大学入学者選抜)の大学入学共通テストの成績を利用する大学に志願する者は, 当該大学への出願時に大学入試センターが発行する「 過年度成績請求票 」を提出する必要があります。	

① 志願者本人の氏名と生年月日を記入してください

フリガナ	_____			生年月日	年	月	日
氏名	_____			<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成			

② 訂正する箇所のみ、訂正後の内容を記入してください

○氏名

フリガナ	_____			生年月日	年	月	日
漢字				<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成			

○生年月日

○住所

郵便番号	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
◎出願後に現住所を変更しても、試験場は変更できません。																			
新住所	(フリガナ) _____																		

○電話番号 (変更のある電話番号のみ記入してください)

新電話番号 (自宅・下宿・寮)																		
新電話番号 (携帯電話)																		

◎「性別」に登録の誤りがある場合は、直ちに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。

③ 確認はがきのコピーを貼り付けてください

確認はがき貼り付け欄

登録内容の訂正期限 令和5年11月1日(水)(消印有効)

高等学校等コード	●●●●●●●●	
フリガナ氏名	●●●●●●●●	
生年月日	●●●●●●●● 性別 ●	
連絡先等	●●●●-●●●●-●●●● ●●●●-●●●●-●●●● 〒●●●●-●●●● ●●●●●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●●●●●	
成績通知	●●	
受験上の配慮	●●●●●●	
イヤホン不適合措置	●●	
試験実施期日	●●●●●●	
登録教科	国語	●●●●●●
	地理歴史, 公民	●●●●●●
	数学	●●●●●●
	理科	●●●●●●
	外国語	●●●●●●
別冊子試験問題	数学② ●● 外国語 ●●	

提出前に確認してください

氏名に登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられるか、カタカナのみ表示されますが、登録の誤りではありません。

住所に登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられるか、カタカナで表示されることがありますが、登録の誤りではありません。

①「成績通知」「受験上の配慮」「イヤホン不適合措置」は、出願時に申し出た内容を変更することはできません。

②「登録教科」「別冊子試験問題の有無」を訂正する場合は、11月1日までに、30ページの「登録教科等訂正届」に必要事項を記入して提出してください。

令和5年10月●日発行 (00000011-010001-000001)

【訂正届の提出者全員】
「確認はがき」のコピーを貼り付けてください。

11月17日以降に大学入試センターに届いた分については、受験票への印字が間に合いませんので、受験票到着後に手続きを行ってください。
→受験案内35ページ

届出の際は、このページをコピーして使用してください。

出願後

申請の際は、このページをコピーして使用してください。

出 C
願
後

① 全ての項目を記入してください

フリガナ		生年月日	年	月	日
氏名		<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成			
郵便番号					
現住所					
連絡先電話番号		高等学校等コード		学校名	

② A～Cのうち、必要事項に☑チェック・記入をしてください

A 再発行

申請理由	<input type="checkbox"/> 不着	<input type="checkbox"/> 紛失	<input type="checkbox"/> 汚損・破損	※「不着」「紛失」以外の理由の場合は、所持している受験票・写真票・成績請求票を同封してください。	
	<input type="checkbox"/> 記載内容の誤り	誤		→	正
	<input type="checkbox"/> 氏名の変更	フリガナ	旧氏名	→	フリガナ 新氏名

再発行するもの	I 欄	<input type="checkbox"/> 受験票 <input type="checkbox"/> 写真票 (試験終了後は、再発行不要です。) <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立推薦型選抜用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立前期日程用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立後期日程用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 公立大学中期日程用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立第2次募集用	写 真 写再試験 再発行を終了後 とを申請に署名を 必要とする受験票 の場合は 必ず署名してください。
	II 欄	<input type="checkbox"/> 成績請求票 国公立総合型選抜用 <input type="checkbox"/> 成績請求票 私立大学・公私立短期大学用	

写真
4 cm × 3 cm
写真の裏に氏名を記入し、しっかり貼ってください。

自署欄
必ず署名してください。

※ I 欄については、再発行すると今までのものが無効になります。
 ※ II 欄については、再発行しても今までのものは無効になりません。

B 成績請求票の追加発行

発行するものと枚数	<input type="checkbox"/> 国公立総合型選抜用 <input type="text" value=""/> 枚	<input type="checkbox"/> 私立大学・公私立短期大学用 <input type="text" value=""/> 枚
-----------	--	--

C 過年度成績請求票の発行

試験年度	<input type="checkbox"/> 令和3年度	<input type="checkbox"/> 令和4年度	<input type="checkbox"/> 令和5年度
発行するもの	<input type="checkbox"/> 国公立推薦型選抜用	<input type="checkbox"/> 国公立総合型選抜用	<input type="checkbox"/> 国公立前期日程用
	<input type="checkbox"/> 国公立後期日程用	<input type="checkbox"/> 公立大学中期日程用	<input type="checkbox"/> 国公立第2次募集用
	<input type="checkbox"/> 私立大学・公私立短期大学用		

5 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

(1) 大学入学共通テストの出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病、症状の悪化等）のために受験上の配慮を希望する者には、申請に基づき大学入試センターで審査の上、「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」に準じた受験上の配慮事項を決定します。

なお、この申請は、申請する理由が出願後に発生したときに限り行うことができるものです。したがって、出願時まで申請すべき内容であった場合には対象となりません。

(2) 不慮の事故等のために受験上の配慮を希望する場合は、受験票の「問合せ大学」欄に記載された大学に、志願者本人又は代理人がまず電話連絡した上で、令和6年1月10日(水)17時までに「受験票」及び「診断書（「受験上の配慮案内」にある様式（原本））」を持参し、申請してください。（「受験上の配慮案内」の入手方法については17ページの(5)を参照してください。）

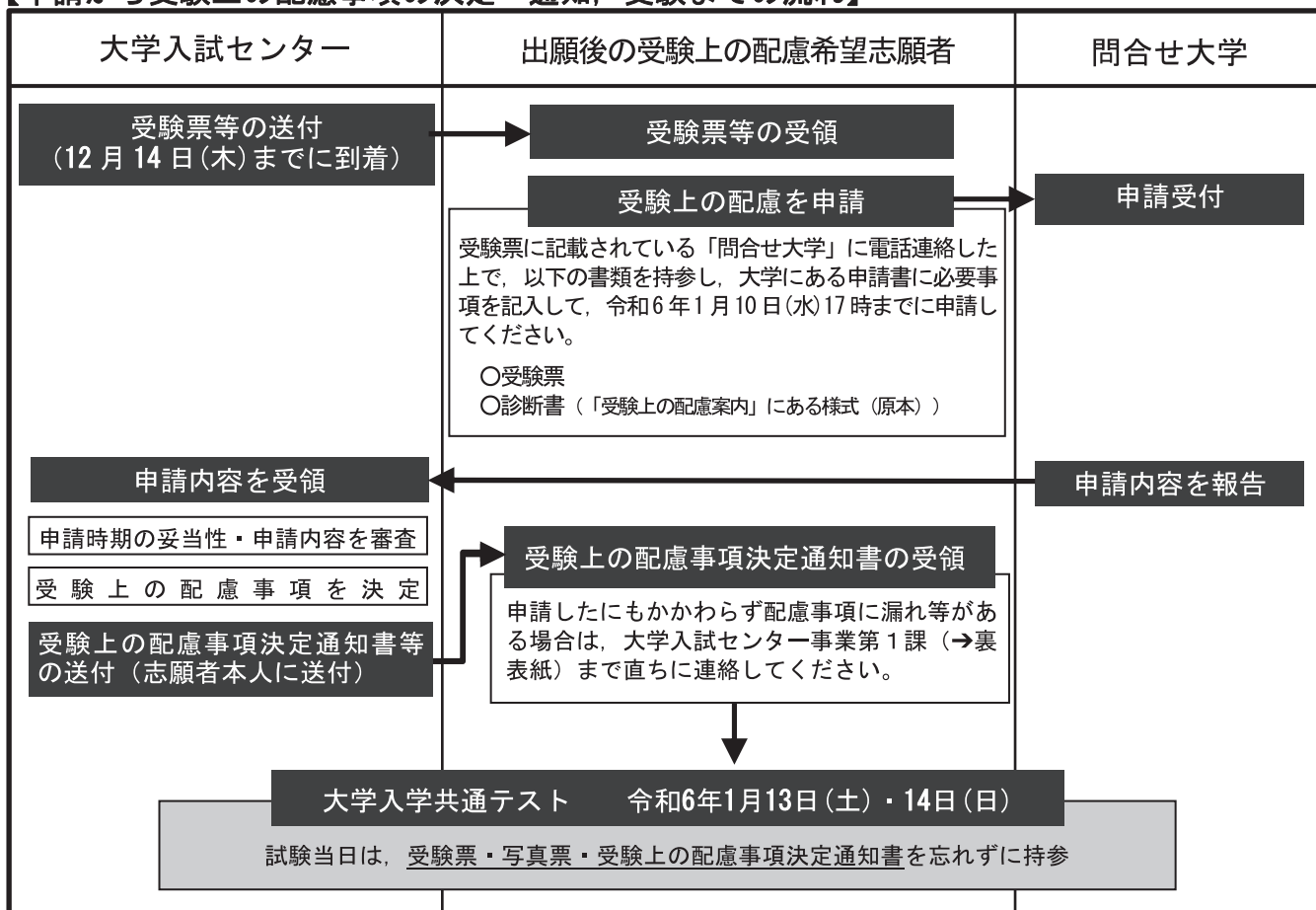
なお、「診断書」には、発症等の時期及び希望する配慮事項が試験当日に必要な理由を必ず明記してもらってください。大学入試センターでは、「問合せ大学」から回付された書類を審査の上、配慮事項を決定し、「受験上の配慮事項決定通知書」により志願者に通知します。

また、障害等の程度や希望する配慮事項によっては、十分な審査を行うため、大学入試センターから、「診断書」以外に追加で書類等の提出を求める場合があります。

(3) 申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともありますので、不慮の事故等のために受験上の配慮を希望する必要がある場合には、速やかに申請してください。

(4) 申請時期が遅い場合には「受験上の配慮事項決定通知書」等が試験前日までに届かないことがあります。この場合、大学入試センターから決定した配慮事項を電話で連絡します。

【申請から受験上の配慮事項の決定・通知、受験までの流れ】



D リスニング

1 リスニングの概要

(1) リスニングを実施する教科・科目

リスニングは外国語「英語」の一領域として実施します。外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を受験してください。

なお、「英語」以外の外国語を受験した場合、リスニングを受験することはできません（→p.4）。

(2) 試験時間・解答時間

リスニングは、IC プレーヤーを使用し、受験者が個々に音声を聞き取りながら解答する試験です。音声は、左右とも同一の音声モノラルで流れます。

また、試験時間 60 分の中で、解答開始前に IC プレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を受験者本人が行った後、30 分間で解答します（→p.41）。

なお、リーディングとリスニングの間には、休憩時間が設けられています。

(3) 聞き取る英語音声の流れる回数

聞き取る英語の音声を 2 回流す問題と、1 回流す問題があります。流す回数は、下表のとおりです。

問題	第 1 問	第 2 問	第 3 問	第 4 問	第 5 問	第 6 問
流す回数	2 回	2 回	1 回	1 回	1 回	1 回

(4) リスニングにおける受験上の配慮

病気・負傷や障害等のために、リスニングにおいて配慮を希望する者は、受験上の配慮を申請してください（→p.15）。

(5) イヤホン不適合措置

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置」を申請してください（→p.44）。上記(4)のリスニングにおける受験上の配慮とは申請方法が異なりますので注意してください。

なお、試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、対応できません。

2 リスニング受験上の注意

(1) リスニングでは、遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。試験開始時刻（17:10）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。

(2) リスニングでは、他の受験者の聞き取りに支障を来す不必要な音をたてることがないように注意してください。

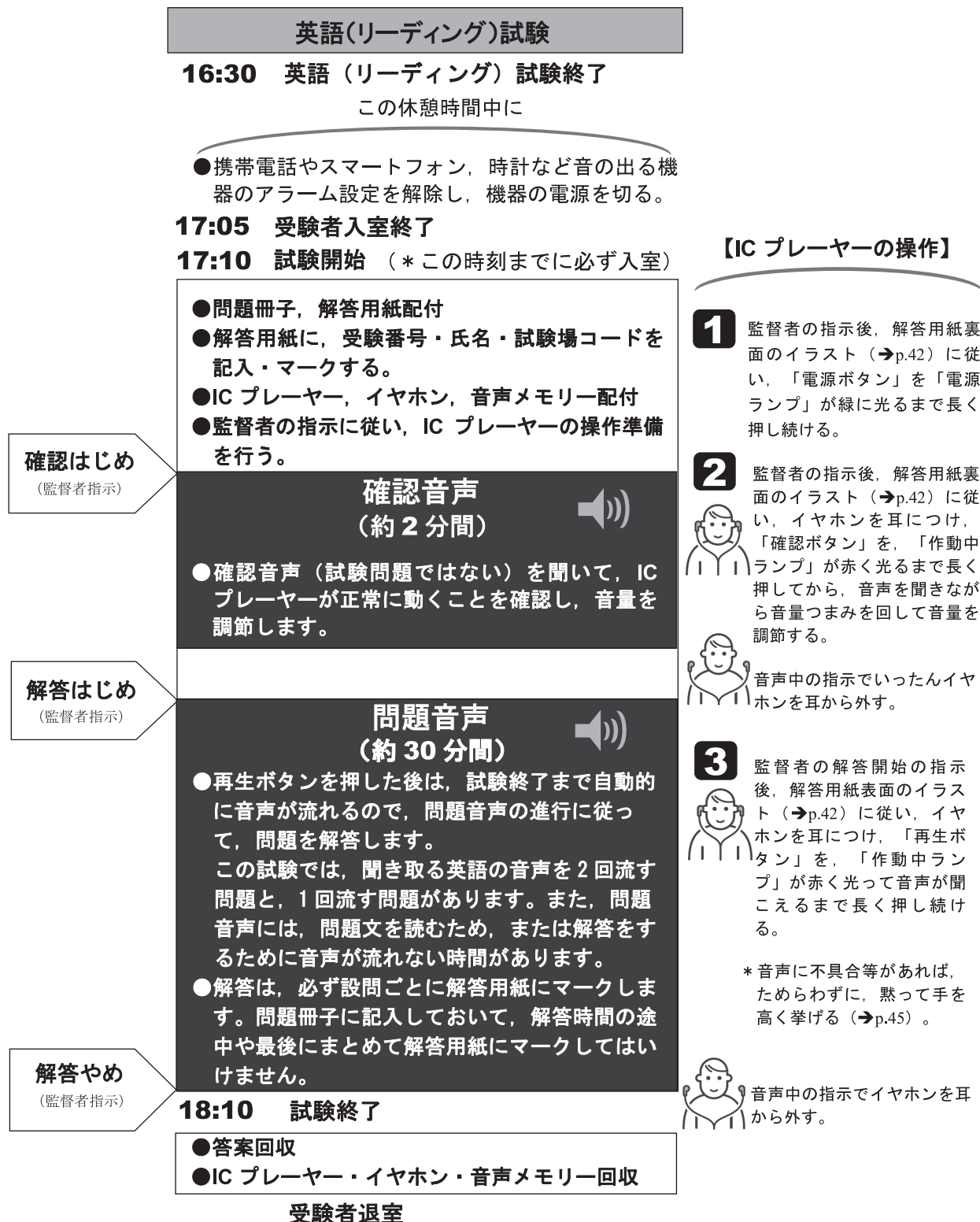
(3) IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり、音声流れなかったりした場合、音声途中で停止するなど聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。

なお、試験が終わってからこれらを申し出ても、救済措置（再開テスト）はありません（→p.45）。

(4) 解答時間中の質問は、一切受け付けません。

3 リスニングの進行

(1) リスニングの進行の概要



(2) 試験終了後の IC プレーヤー等の取扱い

IC プレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは、試験終了後に回収します。これらを試験室から持ち出すと、不正行為となることがあります(→p.49)。ただし、問題冊子は持ち帰ってください。

なお、問題音声は、試験終了後に大学入試センターのホームページ(→裏表紙)で確認することができます。

(3) IC プレーヤーの操作

ICプレーヤーの操作は、解答用紙裏面及び表面のイラストに従い行います。このうち、①～④の操作については、受験者本人が行います。⑤～⑦及び表面のイラストの操作については、それぞれ監督者の指示があるまで行ってはいけません。

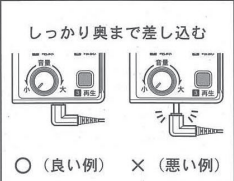
【リスニング解答用紙裏面】

<IC プレーヤーの準備方法>

裏面

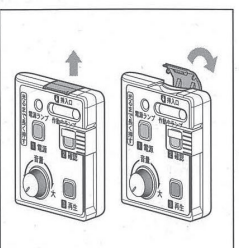
①～④を各自で行ってください。分からないことがあったら、手を挙げて知らせてください。⑤～⑦は指示があるまで行わないでください。

① ICプレーヤーに差し込まれたイヤホンを、念のため、もう一度押し込み、奥までしっかりと差し込まれていることを確認した後、イヤホンの「コードどめ」をほどく。

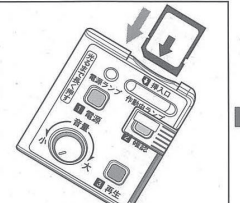


○ (良い例) × (悪い例)

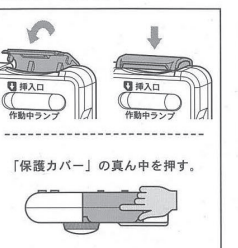
② ICプレーヤーを持ち、音声メモリーの「保護カバー」を上方向に開ける。



③ 音声メモリーを袋から取り出す。ICプレーヤー表面が見えるようにした状態で、矢印の面を表にして、奥に突き当たるまでしっかりと差し込む。



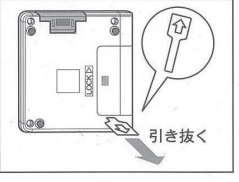
④ 「保護カバー」を閉じる。なお、閉じる際は、「保護カバー」の真ん中を押す。



「保護カバー」の真ん中を押す。

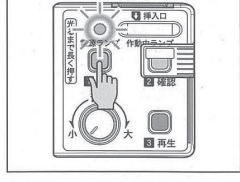
⑤～⑦は、それぞれ監督者の指示を待つこと

⑤ ICプレーヤー裏側の「絶縁シート」を引き抜き、ICプレーヤーが入っていた袋の中に入れる。
(注1) 引き抜く時に表面のボタンを押さないように注意すること。
(注2) 次の指示があるまで、⑥には進まないこと。

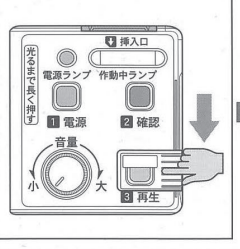


引き抜く

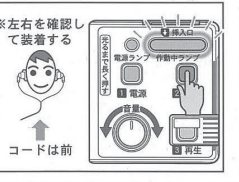
⑥ ①の「電源ボタン」を、「電源ランプ」が光るまで長く押し続ける。
(注) 次の指示があるまで、⑦には進まないこと。



⑦ ICプレーヤー右側の「スライドカバー」を下方向に移動させる。



イヤホンの左右を確認してから、耳に付け、②の「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。「作動中ランプ」が光ったら音量つまみを回して、聞きやすい音量に調節する。



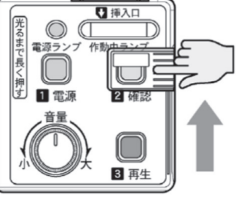
※左右を確認して装着する
コードは前

【リスニング解答用紙表面（抜粋）】

「解答はじめ」の指示があったら、次の手順で操作すること。

解答開始時の操作手順

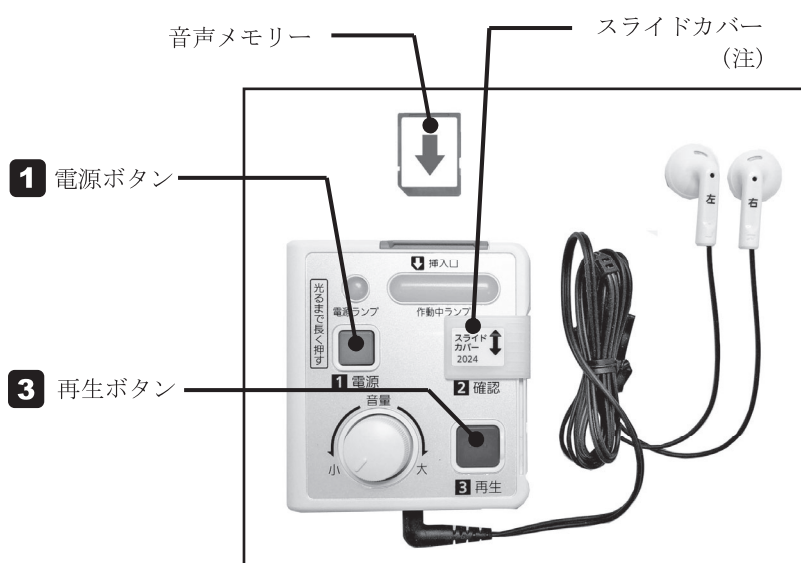
- イヤホンの左右を確認しながら、耳に付ける。
- 「スライドカバー」を上方向に移動させる。



- ③の「再生ボタン」を「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。

以後は、問題音声の進行に従って、解答しなさい。

【参考】 各部の名称



※ 保護カバーを開けた状態



※ スライドカバーを下に移動させた状態

- (注) 配付時は「確認ボタン」の上に配置され、「確認ボタン」を押す直前に「再生ボタン」の位置までスライドさせます。
同様に「再生ボタン」を押す直前に「確認ボタン」の位置にスライドさせます。

(4) IC プレーヤーの操作の注意点

- ① IC プレーヤーは各ボタンを単にひと押ししただけでは、作動しません。**1** 電源ボタンは電源ランプが緑に光るまで、**2** 確認ボタンと**3** 再生ボタンは作動中ランプが赤く光るまで、長く押し続けます。
- ② **1** 電源ボタン、**2** 確認ボタン、**3** 再生ボタンの順番を守らない操作は受け付けません。
「確認ボタン」を押し、確認音声を取った後でないと「再生ボタン」を押しても問題音声は流れません。
- ③ 各ボタンを押した後に音声メモリーを引き抜くと、再び音声を再生することができません。音声メモリーを差し込み、保護カバーを閉じた後は、保護カバーを開けないでください。
- ④ IC プレーヤーには「一時停止」、「早送り」、「巻き戻し」の機能はありません。

4 IC プレーヤーの操作体験

大学入試センターのホームページ (→裏表紙) にある「IC プレーヤー操作ガイド」では、IC プレーヤーの操作を体験することができます。IC プレーヤーの三つのボタンの長押しの方法、操作上の注意事項やリスニングの流れが分かるようになっています。

5 イヤホンが装着できない場合

(1) イヤホン不適合措置

試験で使用するイヤホンが耳に装着できない者には、試験時間中にヘッドホンを貸与します。ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時にイヤホン不適合措置を申請する必要があります。

(2) イヤホンの装着具合の確認

イヤホンについては、出願する前に、在学する高等学校等や大学入学共通テスト利用大学で実際に耳に装着できるかどうかを確認し、イヤホンが耳に装着できない場合、必ず出願時にイヤホン不適合措置を申請してください。

(3) 申請方法

イヤホン不適合措置を希望する志願者は、出願時に「イヤホン不適合措置申請書」を提出する必要があります。下の①又は②の方法により申請書を入手し、大学入学共通テスト利用大学（大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載しています。）の入試担当窓口にて電話連絡の上、志願者本人が出向き確認の署名をしてもらった後、志願票（第Ⅱ面）の所定の欄（→p.21）に貼り付けて出願してください。

詳しい申請書の記入方法や申請方法は、ホームページの「イヤホン不適合措置申請書」に記載しています。

なお、離島に居住している等の理由で、大学入学共通テスト利用大学で確認の署名をしてもらうことが困難な場合は、令和5年9月22日（金）までに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に連絡してください（出願期間直前は志願者問合せ専用電話が混み合いますので、早めに連絡してください。）。

① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）の「英語リスニングについて」から「イヤホン不適合措置申請書」をダウンロードしてください。

② ホームページからダウンロードできない場合は、次のア・イを封筒（表面に「イヤホン不適合措置申請書請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵便で請求してください。

ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等

イ 返信用封筒（長形3号：縦23.5cm・横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、84円分（速達希望の場合は344円分）の切手を貼る。）

(4) 注意事項

出願時にイヤホン不適合措置の申請がない場合は、試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、ヘッドホンの貸与はできません。この場合、イヤホンを手で押さえて受験することになります。

なお、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病、症状の悪化等）のために、イヤホンを装着できなくなった場合は、出願後の不慮の事故等による受験上の配慮（→p.39）によりヘッドホンの貸与を申請することができます。

6 解答時間中の事故等と再開テスト

(1) 解答時間中の事故等への対応

① IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり、音声流れなかったりした場合、音声途中で停止するなど聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。

なお、試験が終わってからこれらを申し出ても、救済措置（再開テスト）はありません。

② 解答時間中に挙手した場合の監督者との意思伝達については、周囲の受験者の解答の妨げにならないよう監督者から手渡される所定の用紙を使用して、筆談で行います。

③ IC プレーヤーの不具合等を申し出た受験者については、申出の内容や再開解答番号（試験が中断した時点で解答していた番号）について確認した上で、試験終了後に「再開テスト」を実施します。

④ 体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は、監督者から周囲の受験者に対し、試験の中断を指示することがありますので、その際は、監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は「再開テスト」を受験することができますので、試験終了まで静かに待機してください。

(2) 再開テスト

解答時間中に、解答が続行できないような IC プレーヤーの不具合や不慮の事故等があった場合には、監督者の指示で試験を中断することがあります。このような場合には、リスニングの試験終了後、別の IC プレーヤーを使って当初解答していたものと同じ試験問題により、中断した設問から試験を再開します（この試験を「再開テスト」といいます。）。

なお、解答時間中に日常生活騒音等（監督者の足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、イヤホンやヘッドホンからの音漏れ、周囲の建物のチャイム音など）が発生し、解答に支障があったと申し出ても、「再開テスト」の対象とはなりません。

E 試験

1 受験に当たっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験場は受験票で指定します。指定された試験場以外では受験できません。
- ② 受験票及び写真票は、成績請求票と切り離し、試験当日必ず持参してください。
- ③ 受験教科として登録していない教科の試験時間は、試験室に入室できません。万一、登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。
- ④ 受験者入室終了時刻から試験終了までは、試験室から退室できません。
体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室などでの受験はできません。
- ⑤ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:10) までに入室していない場合は受験することができません。
なお、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は、遅刻者の試験室への入室限度（「地理歴史、公民」は 9:50、「理科②」は 16:00）までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。
- ⑥ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合、試験当日に 1 科目のみを受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。同様に、「1 科目受験する」と登録した場合、試験当日に 2 科目を受験することもできません。
- ⑦ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合の試験時間は 130 分です。第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。あらかじめトイレ等を済ませてから入室するようにしてください。
- ⑧ 「理科①」は必ず 2 科目を受験してください。1 科目のみの受験はできません。
- ⑨ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
- ⑩ インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験できません。追試験の受験を申請してください。
また、試験日に発熱・咳等の症状があるなど、体調が万全でない場合は、無理して受験せず、追試験の受験を申請してください（→p.51）。
- ⑪ 大学入学共通テストを受験するに当たり、今後、必要な連絡事項がある場合は、受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示するほか、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）において情報を提供しますので、確認してください。

(2) 試験時間中の注意事項

① 所持品の取扱い

ア 受験票、写真票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・ 黒鉛筆（H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ
- ・ シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る。）
- ・ プラスチック製の消しゴム
- ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
- ・ 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

なお、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む。）の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

イ 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類（リスニングの試験時間に配付するICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは除く。）

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為（→p.49）となることがあります。

なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請（→p.15）が必要です。）

ウ 試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、受験する教科・科目の試験室への受験者入室終了時刻（受験票（→p.31）等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示。）までに、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に、監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。

エ 試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。

英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

オ 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。

※ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮の申請（→p.15）が必要です。

② 試験時間中の監督者の巡視

試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。

また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。

③ 解答上の注意事項

ア 解答には、必ず黒鉛筆（H、F、HBに限る。）及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。

い。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。

イ 解答用紙に解答科目がマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、解答科目が特定できないため、0点となります。

ただし、次の事例のように解答科目が特定できる場合は、特定できた科目として採点します。

(ア) 外国語・・・別冊子試験問題の配付を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしていても、別冊子試験問題が配付されていないため、「英語」として採点します。

(イ) 数学②・・・別冊子試験問題の配付を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしていても、別冊子試験問題が配付されていないため、「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」のいずれか1科目をマークしている場合に限り、マークしている「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」で採点します。

(注) 追試験では、追試験受験申請時に別冊子試験問題の科目の受験を選択した場合、申請科目のみの試験問題が配付されるため、申請科目で採点します。

ウ 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

エ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。

④ その他の注意事項

ア 配付された問題冊子は、その試験時間が終了するまで、試験室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。

イ 地理歴史、公民においては、地理歴史と公民の2冊の問題冊子が配付されます。試験時間中は2冊の問題冊子を机の上に置いてください。

また、数学②、外国語において別冊子試験問題の配付を希望した場合は、希望した別冊子試験問題と数学②では「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」の問題冊子が、外国語では「英語（リーディング）」の問題冊子が配付されます。この場合においても試験時間中は2冊の問題冊子を机の上に置いてください。

ウ 試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。本人確認のために、顔を上げるよう監督者が指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

エ 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、リスニングのイヤホンやヘッドホンからの音漏れ、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置はありません。

(3) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類（→注）を使用すること。
※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請（→p.15）が必要です。）
- ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類（→注）、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 監督者の指示に従わず、ICプレーヤーを操作したり、ICプレーヤーの不具合について虚偽の申出をすること。
- エ ICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーを試験室から持ち出すこと。
- オ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- カ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- キ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ク その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(注) リスニングの試験時間に配付するICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは除く。

(4) 解答用紙の正しいマーク・記入例

(試験場コード 200011, 受験番号 1120C の駒場次郎が「数学 I・数学 A」を解答する場合)

マーク例

良い例	悪い例
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>

① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。

③

- ・ 1科目だけマークしなさい。
- ・ 解答科目欄が無マーク又は複数マークの場合は、0点となります。

解答科目欄

数 学 I <input type="radio"/>	数 学 A <input checked="" type="radio"/>	数 学 I <input type="radio"/>
--------------------------------------	---	--------------------------------------

解答科目
チェック欄

<input checked="" type="checkbox"/>

受験番号欄

千位	百位	十位	一位	英字
1	1	2	0	C
-	0	0	<input checked="" type="radio"/>	(A)
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	1	1	(B)
2	2	<input checked="" type="radio"/>	2	<input checked="" type="radio"/>
3	3	3	3	(H)
4	4	4	4	(K)
5	5	5	5	(M)
6	6	6	6	(R)
7	7	7	7	(U)
8	8	8	8	(X)
9	9	9	9	(Y)
-	-	-	-	(Z)

受験番号マーク
チェック欄

<input checked="" type="checkbox"/>

② 氏名・フリガナ, 試験場コードを記入しなさい。

フリガナ

駒バ ジロウ

氏名

駒場次郎

試験場コード

十萬位	萬位	千位	百位	十位	一位
2	0	0	0	1	1

氏名等
チェック欄

<input checked="" type="checkbox"/>

2 追試験及び再試験

(1) 追試験の実施

① 追試験の対象者

- ア 疾病（インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス・風邪等を含む。）・負傷により試験を受験できない者
- イ 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
- ウ その他やむを得ない事由（両親等の危篤・死亡，自宅の火災等）により試験を受験できない者

② 追試験については，令和6年1月27日(土)及び28日(日)に実施します。ただし，下記(2)の再試験をこの期日より後に実施する必要がある場合には，追試験についても再試験と同一の期日に実施します。

③ 出題教科・科目の出題方法及び試験時間等は，本試験に準じます。

④ 追試験の試験場は，原則として全国を2地区に分け，地区ごとに1か所を設定します。試験場は，大学入試センターのホームページ（→裏表紙）から確認してください。

⑤ 追試験の受験申請方法等の詳細については，受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示します。

⑥ 追試験についての再試験及び追試験はありません。

(2) 再試験の実施

① 再試験は，雪・地震等による災害，試験実施上の事故，その他の事情により，本試験が所定の期日に実施できない又は完了しなかった場合のみ実施します。

② 再試験については，令和6年1月27日(土)及び28日(日)に実施します。ただし，当日の実施が不可能な場合は，この期日より後にできるだけ速やかに実施します。

③ 再試験は，原則として所定の期日までに受験希望を申し出た場合に許可します。

④ 再試験についての再試験及び追試験はありません。



試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入学共通テストの本試験，追試験・再試験の正解及び配点については，各日の全試験終了後に，その日行われた科目分を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(2) 平均点等の発表

大学入学共通テストの平均点等については，中間発表を令和6年1月17日(水)（予定）に，最終発表を2月5日(月)（予定）に，いずれも大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で行います。

2 得点の調整

(1) 得点調整について

大学入学共通テストの本試験において，次の各科目間で，原則として，20点以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には，得点調整を行います。

ただし，受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」の間

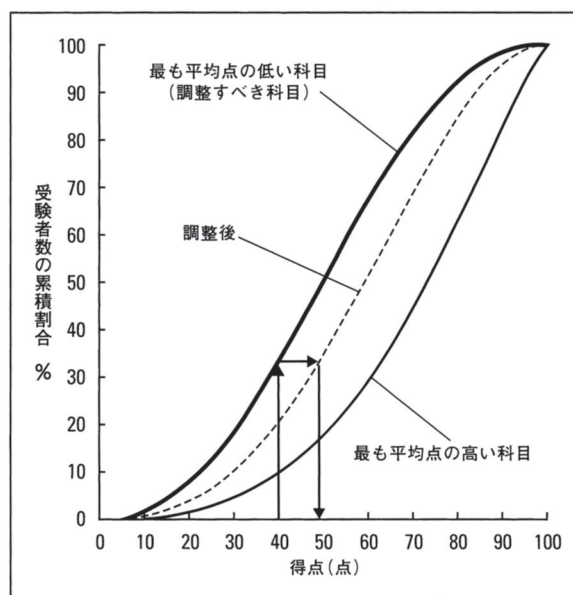
(2) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無は，令和6年1月19日(金)（予定）に発表します。得点調整を行う場合は，対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(3) 得点調整の方法

- ① 得点調整は，(1)の①～③のグループごとに，「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。
- ② 得点調整に当たっては，対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から，平均点差の全てを調整するのではなく，調整後も平均点差が15点（通常起こり得る平均点の変動範囲）となるようにします。

得点の累積分布図



* 「分位点差縮小法」とは、得点調整の対象となる科目のうち、最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し、図の縦軸の受験者数の累積割合(%)が等しい点(等分位点)の差(分位点差)を、一定の比率で縮小する方式です。

また、平均点が最大及び最小以外の科目についても、素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は、15点÷(最も平均点の高い科目の平均点-最も平均点の低い科目の平均点)とします。

この方式により、最も平均点の低い科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。

3 段階表示

(1) 段階表示について

段階表示は、各大学の入学者受入れ方針に応じた、受験者の多様な評価(方法)に活用できるよう、従来の科目別得点に加えて、全体における各受験者の位置づけを示すものです。

なお、試験成績としては「科目別得点」における1から9の9段階として表示します。また、理科①については、「合計点」においても1から9の9段階として表示します。

(2) 換算表の発表

科目別得点等における段階表示の換算表については、令和6年1月19日(金)(予定)に、大学入試センターのホームページ(→裏表紙)で発表します。

(3) 段階表示の方法

- ① 「科目別得点」を、「スタナイン(Stanine)」*という方式を用いて、9段階に換算します。
- ② 段階表示は、「科目別得点」及び「理科①」の合計点に対して行います。ただし、「英語」についてはリーディング、リスニング別に段階表示を行います。
- ③ 「国語」の出題分野別(「近代以降の文章」「古典(古文、漢文)」)の得点については、段階表示は行いません。
- ④ 「地理歴史、公民」で2科目を受験した者又は「理科②」で2科目を受験した者については、第1解答科目、第2解答科目の合計点の段階表示は行いません。

(4) 各大学での活用方法について

各大学においては、入学者選抜を行うに当たって、段階表示を利用して入学者選抜を行うことも可能になりますが、利用の有無や、利用される場合の具体的な方法については、各大学の募集要項等を確認してください。

* 「スタナイン(Stanine)」とは、分位点による区分法の一つであり、受験者を得点順におおよそ4, 7, 12, 17, 20, 17, 12, 7, 4%の群に分割し、科目別得点を得点の低い方から順に1から9の9段階に換算する方式です。

4 試験成績の大学への提供方法

- (1) 大学入試センターは、大学入学共通テストを利用する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績（「科目別得点」及び「段階表示」）を、請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については、大学入学共通テスト出願前までに、各大学の募集要項等で確認してください。
- (2) 「国語」の特定分野を利用する大学へは、「国語」の得点及び段階表示とは別に出题分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点も提供します。
- (3) 「地理歴史、公民」で2科目を受験した場合又は「理科②」で2科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき「第1解答科目、第2解答科目別の得点、その合計点及び第1解答科目、第2解答科目別の段階表示」又は「第1解答科目の得点及び段階表示」のいずれかを提供します。
なお、大学が1科目のみの得点を利用する場合には、**第1解答科目の得点及び段階表示を優先して利用**することがありますので、必ず、志望大学の募集要項等で確認してください。
- (4) 「理科①」の成績については、選択した科目別の得点及び段階表示を提供します。併せて、合計点及び合計点の段階表示も提供します。
- (5) 「英語」の成績については、リーディング、リスニング別の得点及び段階表示を提供します。
- (6) 大学入学共通テストを利用する各大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると、下表のとおりです。

入学志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
国語、外国語の2教科から1教科選択	当該大学の入学志願者が国語、外国語を受験した場合、この2教科の得点及び段階表示
「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目から1科目選択	当該大学の入学志願者が「理科②」で2科目を受験した場合、第1解答科目として「物理」を、第2解答科目として「化学」を解答していれば、大学からの請求に基づき、この2科目の得点、合計点及びこの2科目の段階表示又は第1解答科目の「物理」の得点及び段階表示のいずれか



1 過年度の大学入学共通テストの成績を利用する選抜

大学入学共通テストを利用する大学では、過年度（令和3年度から令和5年度大学入学者選抜）の大学入学共通テストの成績を当該年度の入学者選抜に利用することがあります。

過年度（令和3年度から令和5年度大学入学者選抜）の大学入学共通テストの成績の利用については、各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 「過年度成績請求票」について

過年度（令和3年度から令和5年度大学入学者選抜）の大学入学共通テストの成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要がありますので、手続方法（→p.36）に従って、大学入試センターに申請してください。

(2) その他の注意事項

- ① 過年度（令和3年度から令和5年度大学入学者選抜）の大学入学共通テストの成績を利用する大学へ出願する際には、「該当する年度の大学入学共通テスト受験票」も必要となりますので、紛失して手元にない場合は、志望大学に問い合わせてください。
- ② 令和7年度以降の大学入学者選抜において、令和6年度の大学入学共通テストの成績を利用する大学へ出願する際には、「令和6年度大学入学共通テスト受験票」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

2 志望大学に確認すること

大学入学共通テストの志願者が志望大学に確認すべき主な事項は、次のとおりです。各志望大学の募集要項等で確認してください。

(1) 志望大学が大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目

大学入学共通テストを利用する各大学は、大学入学共通テストの出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。各志望大学の募集要項等をよく読んで確認の上、大学入学共通テストの出願をしてください。

(2) 志望大学へ出願する際に提出する「成績請求票」の種類等（→p.31）

(3) 志望大学を受験する際の「大学入学共通テスト受験票」の取扱い（→p.31）

(4) 障害等のある志願者の志望大学との事前相談（→p.17）

3 個人情報の取扱い

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「独立行政法人大学入試センター保有個人情報の適切な管理のための措置に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。
- (2) 大学入試センターは、志願票等に記載された氏名、住所その他の個人情報を、大学入学共通テストの実施（出願処理、試験実施）及びこれに付随する業務を行うために使用します。
- (3) 大学入試センターは、志願者が個別学力検査等に出願した大学入学共通テスト利用大学（以下、「各大学」という。）に対して、当該志願者の大学入学共通テストの成績、受験状況及び志願票等に記載された個人情報を直接提供します。
- (4) 大学入試センターは、各志願者の国公立大学への出願状況、合格状況及び入学手続状況を収集し、必要に応じ各国公立大学へ提供します。
- (5) 大学入試センター及び各大学は、収集した個人情報を、大学入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料として利用することがあります。調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
- (6) 大学入試センターは、上記の各種業務での利用に当たって、一部の業務を大学入試センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。
この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- (7) 大学入試センターは、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく当該志願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

し 支援学校仙台みらい 04941H
高等学園

上記以外の高等学校等 04999K

秋 田 県

国 立
(特別支援学校)

あ 秋田大学教育文化学 05051 C
部附属特別支援
(高等専門学校)

あ 秋 田 工 業 高 専 05091 B

公 立
(高等学校)

あ 秋 田 田 05101 C
北 05102 A
秋 田 工 業 05104 H
秋 田 商 業 05152 H
秋 田 中 央 05151 K
秋 田 西 05156 A
秋 田 北 鷹 05165 K
秋 田 明 南 05103 K
秋 田 明 徳 館 05143 J
新 屋 05158 G
羽 後 05142 A
お 大 館 桂 校 05168 D
大 館 国 際 情 報 学 院 05164 A
大 館 鳳 鳴 05109 J
大 館 曲 工 業 05129 C
大 館 曲 農 業 05130 G
大 館 鹿 海 洋 05162 E
雄 鹿 工 業 05157 J
雄 鹿 物 産 05138 B
か 角 金 足 農 館 05132 C
こ 小 所 野 学 院 05161 G
と 仁 賀 保 05150 A
に 西 北 05147 A
の 能 代 科 学 技 術 05116 A
能 代 松 陽 05169 B
能 代 輪 05167 F
は 花 平 成 05160 J
へ 増 田 荘 05123 D
ま 増 田 05137 D
ま や 矢 島 05127 G
ゆ 湯 沢 翔 北 05166 H
湯 沢 利 工 業 05125 A
よ 横 手 城 手 05134 K
横 手 清 陵 学 院 05163 C
ろ 六 郷 05131 E

(特別支援学校)

あ 秋 田 支 援 05431 D
い 稲 川 支 援 05443 H
お 大 曲 支 援 05457 H
く 栗 田 支 援 05458 F
く 栗 田 支 援 05458 F
し 視 覚 支 援 05451 J
ち 聴 覚 支 援 05452 G
て 天 王 み どり 学 園 05444 F
て 能 代 支 援 05455 A
ひ 能 代 支 援 05454 C
ゆ 横 手 支 援 05441 A
よ 横 手 支 援 05459 D

私 立
(高等学校)

あ 秋 田 修 英 05505 A
秋 田 令 和 05504 C
こ 国 学 館 05503 E

せ 聖 霊 女 子 短 期 大 学 付 05502 G
属
の ノ ー ス ア ジ ア 大 学 明 05501 J
桜

上記以外の高等学校等 05999E

山 形 県

国 立
(特別支援学校)

や 山形大学附属特別支 06051 J
援
(高等専門学校)

つ 鶴 岡 工 業 高 専 06091 H

公 立
(高等学校)

あ 左 沢 06115 J
荒 置 賜 農 砥 06137 K
お 小 賜 農 業 06131 A
霞 城 学 園 06138 H
か 上 城 学 園 06160 D
加 茂 新 館 06159 A
北 村 水 産 06147 G
さ 北 光 山 06157 D
酒 田 光 陵 06163 J
酒 田 西 06150 G
酒 田 東 06149 C
寒 河 江 江 06112 D
し 庄 内 総 合 06144 B
庄 内 農 業 06143 D
新 庄 神 室 産 業 06162 A
新 庄 北 06121 C
新 庄 南 06122 A
た 高 昌 06133 G
つ 高 鶴 岡 工 業 06140 K
鶴 岡 工 業 06141 H
鶴 岡 中 央 06161 B
て 天 童 重 06110 H
と 東 桜 学 館 06117 E
と 長 井 井 06135 C
な 長 井 工 業 06136 A
む 南 村 山 産 業 06158 B
む 村 山 産 業 06164 G
や 谷 山 北 06114 A
山 形 工 業 06105 A
山 形 市 立 商 業 06107 H
山 形 中 央 06106 K
山 形 西 06103 E
山 形 東 06101 J
山 形 南 06110 G
山 形 辺 06111 F
山 形 佐 06155 H
ゆ 遊 沢 工 業 06129 B
米 沢 興 讀 館 06127 B
米 沢 商 業 06130 B
米 沢 東 06128 A

(特別支援学校)

か 上 山 高 等 養 護 06442 E
酒 田 特 別 支 援 06431 K
し 酒 田 庄 養 護 06444 A
し 酒 田 庄 養 護 06444 A
た 新 桶 岡 特 別 支 援 06432 H
た 新 桶 岡 特 別 支 援 06432 H
つ 鶴 岡 高 等 養 護 06446 H
つ 鶴 岡 高 等 養 護 06446 H
む 村 山 特 別 支 援 06447 F
村 山 特 別 支 援 06447 F
や 山 形 養 護 06441 G
山 形 養 護 06441 G
山 形 養 護 06452 B
ゆ 崎 刈 養 護 06454 J
ゆ 米 沢 養 護 06443 C

私 立
(高等学校)

き 基 督 教 独 立 学 園 06511 A
く 九 里 学 園 06509 K

さ 酒 田 南 06517 A
し 新 庄 東 06508 A
せ 惺 山 06506 E
そ 創 学 館 06505 G
つ 鶴 岡 東 06513 H
と 東 海 大 学 山 形 06507 C
北 文 教 大 学 山 形 城 06501 D

に 日 本 大 学 山 形 06503 A
は 羽 黒 06512 K
や 山 形 学 院 06502 B
山 形 明 正 06504 J
よ 米 沢 中 央 06510 C
わ 和 順 館 06516 B

上記以外の高等学校等 06999A

福 島 県

国 立
(特別支援学校)

ふ 福 島 大 学 附 属 特 別 支 07051 D
援
(高等専門学校)

ふ 福 島 工 業 高 専 07091 C

公 立
(高等学校)

あ 会 津 学 津 07132 D
会 津 学 院 07134 A
会 津 工 業 07136 G
会 津 西 陵 07144 H
会 津 第 二 07183 J
会 津 農 林 07146 D
安 積 07133 B
安 積 成 07114 F
あ 安 積 明 07116 B
安 積 達 07111 A
い 石 川 (県 立) 07128 F
猪 苗 代 07137 E
猪 苗 代 城 07151 A
い 磐 城 光 洋 07191 K
磐 城 丘 07152 J
磐 城 緑 丘 07155 C
こ 郡 山 女 子 大 学 附 属 07507 J
さ 桜 の 聖 母 学 院 07504 D
し 尚 仁 志 07509 E
愛 07515 K
せ 聖 光 学 院 07506 A
た 帝 智 学 園 07520 F
た 帝 京 安 積 07508 G
に 日 本 大 学 東 北 07510 J
ひ 東 日 本 国 際 大 学 附 属 07511 G
昌 平

ふ 福 島 (私 立) 07501 K
福 島 県 磐 城 第 一 07516 H
福 島 成 蹊 07503 F
福 島 東 稜 07505 B

上記以外の高等学校等 07999F

茨 城 県

国 立
(特別支援学校)

い 茨 城 大 学 教 育 学 部 附 08051 K
属 特 別 支 援
(高等専門学校)

い 茨 城 工 業 高 専 08091 J

公 立
(高等学校)

あ I T 未 来 08224 E
明 野 08190 G
麻 生 08141 J
い 石 岡 商 業 08152 D

勿 来 工 業 07162 F
に 西 会 津 07143 K
本 松 実 業 07112 K
は 原 町 07172 C
ふ 福 島 (県 立) 07101 D
福 島 北 07107 C
福 島 工 業 07106 E
福 島 商 業 07104 J
ふ く し ま 新 世 07176 F
福 島 西 07103 A
福 島 東 07188 K
福 島 南 07189 H
福 島 明 成 07105 G
ふ た ば 未 来 学 園 07197 J
引 07130 H
み 南 会 津 07148 A
も 本 宮 07113 H
よ 好 間 07156 A
四 倉 07164 B
わ 若 松 商 業 07135 J

(特別支援学校)

あ 会 津 支 援 07458 G
あ ぶ く ま 支 援 07459 E
い 川 支 援 07443 J
い 猪 苗 代 支 援 07444 G
い 猪 苗 代 支 援 07457 J
お 大 笹 生 支 援 07442 A
こ 郡 山 支 援 07453 F
し 視 覚 支 援 07451 K
す 須 賀 川 支 援 07455 B
そ 須 賀 馬 支 援 07431 E
た 平 支 援 07456 A
た だ む ら 支 援 07432 C
た だ む ら 支 援 07433 A
ち 聴 覚 支 援 07452 H
と 富 岡 支 援 07460 J
に 西 郷 支 援 07441 B
ふ く し ま 支 援 07454 D

私 立
(高等学校)

あ 会 津 北 嶺 07513 C
会 津 若 松 ザ ベ リ オ 学 07514 A
園

い 石 川 (私 立) 07512 E
い 磐 城 秀 英 07519 B
磐 城 緑 丘 07517 F
こ 郡 山 女 子 大 学 附 属 07507 J
さ 桜 の 聖 母 学 院 07504 D
し 尚 仁 志 07509 E
愛 07515 K
せ 聖 光 学 院 07506 A
た 帝 智 学 園 07520 F
た 帝 京 安 積 07508 G
に 日 本 大 学 東 北 07510 J
ひ 東 日 本 国 際 大 学 附 属 07511 G
昌 平

ふ 福 島 (私 立) 07501 K
福 島 県 磐 城 第 一 07516 H
福 島 成 蹊 07503 F
福 島 東 稜 07505 B

上記以外の高等学校等 07999F

石 岡 第 一 08150 H
石 岡 第 二 08151 F
石 磯 下 原 峰 08219 J
潮 英 08216 D
伊 茨 岩 来 08142 G
茨 岩 奈 08211 C
岩 東 08186 J
岩 瀬 08162 A
う 牛 久 久 08192 C
牛 久 久 進 08210 E
え 江 戸 崎 総 合 08213 K
お 大 田 第 一 08221 A
大 田 第 二 08111 G
小 瀬 08116 H
か 海 洋 08131 A
海 鹿 間 08132 K
鹿 鹿 間 08143 E
鹿 鹿 間 08193 A
勝 田 工 業 08128 C
勝 田 工 業 08144 C
き 鬼 怒 商 業 08172 J
く 古 河 第 一 08177 K
こ 古 河 第 二 08178 H
さ 古 境 08182 F
佐 和 08203 B
三 和 08208 C
し 下 館 工 業 08165 F
下 館 第 一 08163 K
下 館 第 二 08164 H
下 館 妻 第 一 08166 D
下 館 妻 第 二 08167 B
そ 総 和 工 業 08180 K
た 高 萩 清 萩 08101 K
高 萩 松 賀 08214 H
多 竹 園 08191 E
玉 造 工 業 08140 A
大 子 清 流 08212 A
中 央 08209 A
つ 筑 波 科 08181 H
つ 筑 波 工 科 08225 C
つ 筑 波 工 業 08149 D
土 浦 湖 北 08197 D
土 浦 湖 第 一 08146 K
土 浦 湖 第 三 08148 F
土 浦 湖 第 二 08147 H
と 海 部 08188 E
友 部 08189 C
取 手 松 陽 08202 D
取 手 第 一 08159 A
取 手 第 二 08160 E
な 那 珂 08204 A
那 珂 崎 08218 A
は 那 珂 柳 崎 08145 A
波 崎 柳 川 08206 G
坂 東 清 風 08222 J
ひ 常 陸 大 官 08215 F
日 立 工 業 08194 K
日 立 工 業 08106 A
日 立 商 業 08108 G
日 立 第 一 08104 D
日 立 第 二 08105 B
日 立 代 08161 C
ふ 藤 代 水 08199 A
藤 代 水 08137 A
ほ 藤 田 第 二 08138 J
ま 真 壁 08168 A
み 海 道 第 一 08175 C
水 海 道 第 二 08176 A
水 戸 工 業 08124 J
水 戸 桜 ノ 牧 08196 F
水 戸 商 業 08125 G
水 戸 第 一 08119 B
水 戸 第 二 08121 D
水 戸 第 三 08120 F
水 戸 農 業 08123 A
水 戸 南 08126 E
水 戸 緑 谷 08122 B
も 守 谷 08200 H
や 八 千 代 08174 E

H 高等学校
等コード表

<p>し志庄白進修杉杉せそち秩つと</p> <p>木11174A和11237C岡11204G館11150D戸11205E業11158K社11267E加11129F西11253E東11235G南11194F父11125C学11187C風11268C盤11116D沢11162H北11178D業11156C央11234J西11227F陽11131H岡11165B合11196B屋11231D座11170J術11249G瀨11269A韻11273K谷11264A山11252G生11192K業11190C一11198J能11121A高11180F業11148B一11113K一11272A見11195D岡11277B岡11118A庄11119J伏11240C山11105J子11112A郷11185G北11236E術11259D野11155E代11246B沼11229E潮11172E南11257H南11278A野11160A北11270E光11167J光11263B宮11221G</p>	<p>越谷特別支援11460A越谷西特別支援11477Eさいたま桜高等学園11443A坂戸ろう学園11453Hさくら草特別支援11432Eそ草加かがやき特別支援11480E秩父特別支援11465Aと所沢おおぞら特別支援11275F戸田かけはし高等特別支援11434A蓮田特別支援11458J鳩保己一学園11451A羽生ふじ高等学園11444Jひ東松山特別支援11470H日高特別支援11475Jひまわり特別支援11441Dふ深谷はばたき特別支援11431G富士見特別支援11472Dほ庄特別支援11468Fみ三郷特別支援11467H宮代特別支援11478C毛呂山特別支援11476Gわ和光特別支援11461J和光南特別支援11462G</p>	<p>山村国際11509Gり立教新座11513Eわわせがく夢育11558E早稲田大学本庄高等学院11539J</p> <p>(特別支援学校)</p> <p>と特別支援学校光の村11952A秩父自然学園</p> <p>上記以外の高等学校等11999H</p>	<p>沼沼南高柳12243C井12237J宿12252B瑠12153D浦12185B古12147K合12176C台12202F立12101A宮12231K北12109G業12106B業12104F子12102K南12240J東12103H南12107A子12195K子12148H子12149F生12161E沼12203D金12156J業12157G業12152F気12238H里12251D狭12172A山12131C森12132A北12248D南12236A野12192E北12226C成12142J成12127B東12155A中央12204B陵12205A飾12128C(市立)12191G(県立)12112G北12246H明12115A釜12222A山12206J富12234D東12114C和12210G典12228K合12253A尾12154B(市立)12194A(県立)12124A向12235B際12126G橋12224G南12127E実12207G原12162C陽12163A街12140B代12111J西12221B東12208E道12141A北12249B松12110A</p>	<p>か柏香取特別支援12475D君津特別支援12465G湖北特別支援12432A栄特別支援12437A桜が丘特別支援12453C須和田の丘特別支援12463A浦特別支援12455K千葉市立高等特別支援12482G千葉市立養護12468A千葉特別支援12480A千葉盲12451G千葉ろう12452E銚子特別支援12466E長生特別支援12460Fつつくし特別支援12462Bと東葛の森特別支援12457F特別支援学校市川大12431B野高等学園特別支援学校流山高12441K等学園富里特別支援12477Aに仁戸特別支援12470Cの野田特別支援12479Gふ船橋特別支援(市立)12469K船橋夏見特別支援12433Jま横の実特別支援12472K松戸特別支援12456Hや矢切特別支援12434G八千代特別支援12464Jよ八日市場特別支援12478J四街道特別支援12454A</p>
<p>千葉県</p>				
<p>国立 (特別支援学校)</p>				
<p>ち千葉大学教育学部附12052K属特別支援</p> <p>つ筑波大学附属聴覚特12051A別支援</p> <p>(高等専門学校)</p> <p>き木更津工業高専12091A</p> <p>公立 (高等学校)</p>				
<p>あ旭姉農業12151H崎12196H子12135F東12242E羽12178K房12174G心12173J12209C辺12197F業12118F昂12247F東12198D南12229H一12165H原12186A緯12239E毛12216F誠12136D安12123B南12241G浜12200K網12166F原12168B川12146A(市立)12199B(県立)12129A井12227A央12230A業12250F南12130E谷12117H西12223J津12180A東12181K津12182H業12184D業12179H業12122D里12160G業12188G業12105D川12108J台12120H金12125J分12121F橋12245K倉12138A西12201H東12139J南12238G原12144E楊12145C水12134H総12143G</p>				
<p>あ青山学院大学系属浦11525J和ルーテル学院</p> <p>秋草学園11541A浦和明の星女子11524A浦和学院11529A浦和実業学園11520H明11503H明11502K大川学園11555A大妻嵐山11523B成11512G開智未11542J春日部共11534H霞ケ越東11543G川慶義塾志木11504F院11548H玉平11527E埼玉11544E北11549F東11530E丘11514C会11552F明11531C秀明英光11538A野11506B谷11510A平11532A自由の森学園11546A城西大学付属川越11526G城北埼玉11535F西武学園文理11537B武台11536D聖望学園11501A清和学園11554B創学舎11556Jと東京成徳大学深谷11519D東京農業大学第三11545C東邦音楽大学附属東邦第二11522D協埼玉11533K花咲徳栄11540B野11547Kひ東南11518F星野11521F細田学園11505D本庄第一11507A本庄東11515A松栄学園11550K武蔵越生11516K武蔵野音楽大学附属武蔵野星11553Dや山村学園11508J</p>				
<p>私立 (高等学校)</p>				
<p>あ愛国学園大学附属四12544A街道あずさ第一12563G我孫子二階堂12529G市原中央12506H市原中央12550Eう植草学園大学附属12542Dお桜林12559Jか鴨川令徳12510Fき木更津総合12561A暁星国際12540Hけ敬愛学園12523H敬愛大学八日市場12501Gこ光英VERITAS12551C国府台女子学院高等12521A部志学館高等部12547E芝浦工業大学柏12545J渋谷教育学園幕張12548C秀明大学学校教師学12552A部附属秀明八千代12556D昭和学院12503C昭和学院秀英12549A成美学園12568H西武台千葉12554H専修大学松戸12524Fた拓殖大学紅陵12537Hち千葉英和12515G千葉科学大学附属12565C千葉学芸12520C千葉敬愛12504A千葉経済大学附属12505K千葉県安房西12509B千葉商科大学付属12519K千葉聖心12543B千葉日本大学第一12530A千葉萌陽12516E千葉明徳12518A千葉黎明12511D中央学院12532G中央国際12564Eと東海大学付属市原望12534C洋東海大学付属浦安12536K東京学館12541F東京学館浦安12546G</p>				
<p>公立 (中等教育学校)</p>				
<p>あ上尾かしの木特別支援11445G上尾特別支援11469D入間わかき高等特別支援11433C岩槻はるかぜ特別支援11435K浦和特別支援11454F大宮北特別支援11474A大宮ろう学園11452Kか春日部特別支援11464C川越市立特別支援11459G川越特別支援11456B川島ひばりが丘特別支援11442B騎西特別支援11479A行田特別支援11463Eく久喜特別支援11473B熊谷特別支援11455D</p>				
<p>私立 (中等教育学校)</p>				
<p>あ我孫子特別支援12459B安房特別支援12461D飯高特別支援12435E夷隅特別支援12473H市川特別支援12474F市原特別支援12476B印旛特別支援12471Aお大網白里特別支援12436C</p>				

高等学校
等コード表

正則学園 13529B
正聖聖成青世專そ
立川女子 13716C
多摩大学附属聖ヶ丘 13748A
大東文化大学第一 13699K
て帝京大学 13711B
帝京八王子 13553E
貞静学園 13575F
園調布学園高等部 13632J
と園調布双葉学園 13666C
東海大学菅生 13744J
東海大学付属高輪台 13533A
東海大学付属望星 13555A
東京音楽大学付属 13692B
東京家政学院 13513F
東京家政大学附属女 13701E
東京実業 13630B
東京純心女子 13712A
東京女子学院 13703A
東京女子学院 13534J
東京成徳大学 13594B
東京電機大学 13576D
東京都市大学等々力 13654K
東京都市大学付属 13658B
東京農業大学第一 13653A
東京立正 13680J
東星学園 13707D
桐朋 13728G
東邦音楽大学附属東 13577B
邦桐朋女子 13559D
東洋英和女学院高等 13535G
部東洋女子 13578A
東洋大学京北 13570E
トキワ松学園 13622A
豊島岡女子学園 13659A
豊島学院 13694J
獨協 13579J
ドルトン東京学園高 13621C
等部
な中村 13600A
二松学舎大学附属 13515B
日本工業大学駒場 13660D
新渡戸文化 13667A
日本学園 13656F
日本女子体育大学附 13655H
属二階堂
日本体育大学在原 13631A
日本体育大学桜華 13724D
日本大学櫻丘 13657D
日本大学第一 13598E
日本大学第三 13664G
日本大学第二 13681H
日本大学鶴ヶ丘 13682E
日本大学豊山 13580B
日本大学豊山女子 13702C
は八王子学園八王子 13713J
八王子実践 13714G

ひ広尾学園 13526H
広尾学園小石川 13582J
ふフエリシア 13663J
富士見 13704K
富富富士見女子 13734A
藤村女 13516A
雙連土学 13536E
文化学園大学杉並 13676A
文華女子 13740F
文京学院大学女 13581A
文教大学付 13618C
法政大学 13735K
法宝仙学 13669H
豊豊豊学院 13614A
朋優学 13544F
保堀本 13670A
郷 13696E
み三田国際学 13532B
明三輪学 13737F
三輪学 13517J
む武蔵(私立) 13705H
武蔵野 13595A
武蔵野大学 13739B
武蔵野大学附属千代 13512H
田高等学校
め明治学 13537C
明治学院東村山 13725B
明治大学付中野 13671K
明治大学付中野八 13745G
王子
明治大学付明 13518G
星 13717A
明明法 13726A
目黒学 13624H
目黒日本大 13623K
目黒白研心 13545D
や八雲学 13626D
安田学 13599C
山脇学 13539K
り立教女学 13683C
立教志 13749K
立正大学付立正 13617E
わ和早稲田 13546B
早稲田大学系属早稲 13547A
田実業学校高等部
早稲田大学高等学院 13561F
和洋九段女子 13519E
(特別支援学校)
あ旭出学園高等部 13951D
(高等専門学校)
さサレジオ工業高専 13991C
上記以外の高等学校等 13999J

神奈川県

国立 (特別支援学校)

公立 (高等学校)

あ愛相川 14263J
相原 14166G
麻生生 14268K
合 14295G
麻生 14151B
麻生 14171C
厚木 14198E
厚木 14177B
厚木北 14226D
厚木商 14179J
厚木清 14301E
厚木 14271K
厚木 14178A

綾瀬 14201J
西 14262A
馬 14261B
田 14136E
東 14195A
田 14180B
原 14182J
業 14116A
尾 14121G
田 14227B
名 14234E
井 14260D
磯 14185C
船 14258B
南 14157H
小田原北工 14161F
小田原 14307D
小追浜 14142K
か海洋科 14305H
井 14126H
奈川工 14102A
奈川総 14284A
奈川総合産 14300G
奈川 14205A
沢総 14298A
倉 14150A
上 14267A
上 14199C
上 14167E
上 14172A
上 14252C
上崎(市立) 14208F
川崎(県立) 14129B
川崎北 14132B
川崎工 14316E
川崎総合科 14217E
川崎 14120J
根 14250G
岸希望ヶ 14113F
丘 14122E
北 14119E
二港光 14111K
さ幸模向陽 14319H
相模田 14169A
相模原(県立) 14169A
相模原城山 14188H
相模原弥 14325F
相模原 14204C
川 14223K
間 14184E
座間総 14312A
し七里ガ 14152G
工 14112H
南 14153E
台 14272H
陽 14125K
郷 14279E
栄 14251E
城 14131D
14256F
吉 14240K
山 14222A
湘 14160H
津 14209D
浜 14147A
14210H
奈 14219A
摩 14134J
師 14255H
崎 14162D
浜 14242F
陵 14163B
業 14183G
井 14189F
井 14174H
見 14101B
合 14297C
嶺 14164A
塚 14206K
谷 14276A
羽 14191H
羽 14224H
山 14123C
陽 14124A

橋秦 14225F
野 14175F
合 14309A
屋 14281G
澤 14207H
科 14289B
南 14143H
風 14311B
商 14325B
沢 14277J
科 14290F
流 14317A
合 14296E
西 14155A
社 14114D
谷 14228A
岡 14128D
声 14299K
合 14285K
14202G
業 14135G
川 14266C
北 14186A
和 14181A
西 14278G
東 14247G
南 14200A
丘 14137C
須賀(県立) 14138A
津 14139K
業 14140C
合 14292B
南 14324D
陽 14288D
沢 14294J
国際 14302C
横濱サイエンスフ 14315E
ンティア
栄 14310D
館 14304K
業 14212D
嵐 14103J
清 14293A
谷 14127F
合 14286H
野 14106C
陵 14287F
取 14322H
沼 14104G
丘 14105E
朋 14321K
島 14303A
(中等教育学校)
さ相模原 14314G
ひ平塚 14313J
(特別支援学校)
ああおば 14439J
麻生支 14444A
い伊勢原支 14473J
岩戸支 14431C
ええびな支 14437B
お小田原支 14474G
か金沢支 14448H
鎌倉支 14467D
上菅田特別支 14469A
川崎市立 14470D
北綱特別支 14440B
さ港南台ひの特別支 14468B
さ相模原支 14460G
相模原中央支 14436D
左近山特別支 14438A
座間支 14459C
し湘南支 14464K
せ瀬谷支 14453D
た高津支 14462C
武田山支 14457G
久井支 14477A
つ津鶴見支 14445C
な中原支 14456J

中村特別支援 14432A
は秦野支 14443G
ひ東保野特別支援 14434H
日野中央高等特別支 14476C
援
平塚支 14458E
平塚盲 14451H
平塚ろ 14452F
ふ藤沢支 14463A
藤沢市立白浜養護 14441A
二ツ橋高等特別支援 14447K
ほ保土ヶ谷支 14455A
本郷特別支 14475E
み三ツ境支 14454B
みどり支 14472A
も盲特別支 14465H
よ横須賀市立ろう 14471B
横濱ひなたやま支 14450K
横濱南支 14444E
ろう特別支 14466F
わ若葉台特別支 14435F
私立 (高等学校)
あ青山学院横濱英和 14508E
浅野 14511E
旭 14559K
麻布大学附属 14566B
厚木中央 14580H
アレシオン湘南 14560C
え英理女子学 14522A
院 14536C
お西学 14538A
か鹿島山北 14588C
柏木学 14579D
神奈川学 14512C
院 14571J
鎌倉学 14544A
鎌倉女学 14545K
鎌倉女子大学高等部 14547F
カリタス女子 14537J
関東学院 14507G
関東学院六浦 14528K
函嶺白百合学 14569G
き北鎌倉女子学 14546H
く鶴沼 14549B
公文国際学 14578F
院 14578H
け慶應義塾 14523J
慶應義塾湘南藤沢高 14577H
等部
こ向 14557C
さ相模女子大学高等部 14564F
相模原(私立) 14563H
サレジオ学院 14538G
し秀英 14575A
シュタイナー学園高 14586G
等部
湘南学 14532H
院 14551D
湘南工科大学附属 14550F
湘南白百合学 14552B
院 14562K
す逗子開成 14506J
せ聖光学 14584A
星 14570A
清心女子 14567A
聖セシリア女子 14548D
清泉女学 14518B
聖ヨゼフ学 14561A
院 14539E
院 14515K
そ捜真女学校高等部 14514K
相洋 14558A
た橘学 14516F
苑 14568J
中央大学附属横 14505A
ち立正大学附属 14517D
つ鶴見大学附 14524G
と桐蔭学 14565D
東海大学附属相 14573E
桐光学 14554J
藤嶺学 14554J
院 14541G
に日本女子大 14525E
日本大学 14553A
は白鵬女子 14515H

Table with 3 columns: Kanji, Address, and Details. Includes sections for '愛知県' (Aichi Prefecture) and '三重県' (Mie Prefecture) with various school listings and codes.

高港南造津27144G 香里形27300H 金里丘27273G 堺剛27269J 堺27320B 堺上27290G 堺科27312A 堺西27213C 堺東27177C 咲くやこの花27321A 桜塚27106D 桜宮27221D 佐野17184F 狭野科27313K 四山27264H 信太27132C 洪谷27283D 島谷27104H 清谷27143J 城東科27309A 吹田27118H 吹田東27120K 水都国際27330K 住吉商業27158G 成城27233H 成美27314H 堺津27302D 泉北27176E 泉陽27173A 千里雲27319J 高正稜27329F 第二石27211G 北高27207J 第中芸27249D ち央27294K つ木27301F て業27232K て島27108A と寺27156A と山27206A と丘27172B と中27105F と林27166H な尾27136F な野27168D に吉27162E に27228A 西成27155B 西川27272J 西野科27306G ね川27133A の芸27190A は崎27141B は太27258C は園27147A は愛27224J は南27159E は27222B ひ東大市立日新27212E 東大阪住吉総合27161G 東吉合27315F 東百舌鳥27179K 東淀川27102A 東淀工業27237A 日野27293A 枚岡樟風27296F 枚方津田27135H 枚方さ27292C 枚方野27303B ふ福野27268A 福井寺27282F 福井科27170F 藤布布施工27146C 布布施工科27256G 布布施工科27310E ほ北撰つばさ27318A ま牧野27137D 茨田27128E 松原27164A み丘27174J	岬27260E 三島27122F みどり清朋27323G 港南27129C 南箕面27223A 箕面27110B 箕面東27111A 箕面東原27171D 都島工業27234F 都島第二工業27246K も桃守口27205B 守口東27279F や八尾27151K や八尾北27280K や八尾北27297D や八尾田27287G や八尾本27150A や八尾丘27145E ゆ夕陽科27305J よ淀川清流27328H 淀川商業27231A り緑風冠27317B りんくう翔南27325C	追手門学院大手前27502G 大前27527B 大前27517E 大前27571K 大前27507H 大前27503E 大前27551E 大前27584A 大前27550G 大前27591D 大前27562A 大前27515J 大前27581G 大前27536A 大前27533G 大前27552A 大前27551A 大前27589B 大前27510H 大前27611B 大前27566C 大前27593A 大前27504C 大前27555H 大前27537K 大前27508F 大前27546D 大前27582E 大前27605H 大前27522A 大前27511F 大前27557D 大前27595G	花27532J 原27576A 敬愛27569H 谷27538H 芸27568K 学院27501J 園27558B 園27559A 院27543D 星27523K 学院27524H 園27598A 社27509D 大阪27606F 学院27601E 院27574D	川西緑台28135C 川西明峰28136A 神崎工崎28220A 神崎28143D 北磨28108F 北城28171K 北28232E 北寺28178G 北戸28102G 北戸28109D 北戸28284H 北戸工業28118C 北戸甲北28110H 北戸商北28115J 北戸高台28285F 北戸高塚28266K 北戸高際28281C 北戸高丘28248A 北戸高浦28292J 北戸高雲28149C 北戸高雲28289J 北戸高鳴28148E 北戸高用28184A 北戸高館28278C 北戸高雲28274A 北戸高磨28249K 北戸高陽28157D 北戸高橋28293G 北戸高風28288A 北戸高丘28262G 北戸高東28251A 北戸高本28211B 北戸高雲28215E 北戸高雲28120E 北戸高陵28107H 北戸高子28197C 北戸高可28160D 北戸高砂28156F 北戸高南28260A 北戸高塚28133G 北戸高西28270H 北戸高西28218K 北戸高東28134E 北戸高野28210D 北戸高北28287B 北戸高種28187F 北戸高名28212A 北戸高業28167A 北戸高岡28198A 北戸高岡28279A 北戸高田28105A 北戸高業28119A 北戸高尾28122A 北戸高(市立)28236H 北戸高(県立)28121C 北戸高今津28217A 北戸高山28263E 北戸高甲北28123K 北戸高香風28277E 北戸高東28238D 北戸高南28124H 北戸高脇28159A 北戸高北28172H 北戸高業28169H 北戸高業28166C 北戸高坂28205H 北戸高業28170A 北戸高南28268F 北戸高陽28291A 北戸高上28147G 北戸高上28146J 北戸高灘28112D 北戸高磨28221K 北戸高路28199K 北戸高路28247C 北戸高路28194J 北戸高路28188D 北戸高路28271F 北戸高路28189B 北戸高路28174D 北戸高路28173F 北戸高路28176A 北戸高路南28175B
兵庫 県				
国立				
(中等教育学校)				
こ神戸大学附属28001B				
(特別支援学校)				
こ神戸大学附属特別支28051J				
(高等専門学校)				
あ明石工業高専28091H				
公立				
(高等学校)				
あ相生産生28219H あ相生産業28191D あ相生産石28150G あ相生産北28152C あ相生産水28259G あ相生産業28246E あ相生産石28267H あ相生産石28153A あ相生産南28151E あ相生産穂28182E あ相生産(県立)28125F あ相生産干28256B あ相生産(市立)28239B あ相生産(県立)28126D あ相生産園28250C あ相生産小田28129J あ相生産北28127B あ相生産(県立)28138H あ相生産星28290B あ相生産西28128A あ相生産馬28144B あ相生産路28216C あ相生産路28286D あ相生産島28269D あ相生産谷28113B あ相生産北28272D あ相生産野28202C あ相生産石28206F あ相生産(市立)28244J あ相生産(県立)28131A あ相生産北28132J あ相生産西28255D あ相生産川28137K あ相生産和28186H あ相生産野28158B あ相生産原28168K あ相生産術28283K あ相生産北28252K あ相生産西28155H あ相生産東28154K あ相生産南28265A あ相生産住28204K あ相生産郡28183C あ相生産陵28264C				

高等学校
等コード表

し下関国際 35515B
下関短期大学付属 35518G
松誠陰 35522E
世誠華学 35505E
聖成光 35503J
成進 35512H
高川学 35506C
な中村女 35501B
の野田学 35507A
は萩光塩学 35508K
早梅光学 35517J
や柳井学 35502A
山口県鴻城 35509H
山口県桜ヶ丘 35504G
上記以外の高等学校等 35999J

(高等専門学校)
か神山まるごと 36991J
上記以外の高等学校等 36999D

徳島県
国立
(特別支援学校)
な鳴門教育大学附属特 36051B
別支援
(高等専門学校)
あ阿南工業高専 36091A
公立
(高等学校)

国立
(特別支援学校)
か香川高専 37093C
公立
(高等学校)

あ穴南吹 36127F
阿阿南光 36146B
波波波 36125K
い池板西 36124A
か海野田 36132B
川板部 36121G
こ川部 36141A
小島 36123C
小松島 36108K
し城西 36109H
城西 36104G
城東 36101B
つ南 36102A
つ北 36103J
と徳島学 36142K
徳島学 36140C
徳島商 36105E
徳島市 36136E
徳島中 36138A
富岡西 36111K
富岡東 36110A
な那賀 36114D
鳴門門 36119E
み吉川 36143H
よ名野西 36122E
わ脇川 36144F
町 36128D
(中等教育学校)
し城ノ内 36147A
(特別支援学校)
あ阿南支 36457G
い池板支 36431C
か鴨野支 36453D
こ国府支 36455A
と徳島視 36454B
徳島覚 36451H
ひの覚 36452F
みのみ支 36456J
みみなど学 36432A
私立
(高等学校)
こ香蘭 36501H
せ生光 36503D
と徳島文 36502F

い石田 37105A
か香川中 37133F
公立
(高等学校)

(特別支援学校)
か香川西部支 37454H
香川中部支 37457B
香川東部支 37455F
香川丸亀支 37458A
し視覚支 37451C
せ善通寺支 37459J
た高松支 37456D
ち聴覚支 37452A
私立
(高等学校)

し城ノ内 36147A
(特別支援学校)
あ阿南支 36457G
い池板支 36431C
か鴨野支 36453D
こ国府支 36455A
と徳島視 36454B
徳島覚 36451H
ひの覚 36452F
みのみ支 36456J
みみなど学 36432A
私立
(高等学校)
こ香蘭 36501H
せ生光 36503D
と徳島文 36502F

あ穴吹学 37513G
え英明 37502A
お大手前高 37504H
か大手前丸 37506D
香川東藤 37507B
香川誠陵 37510B
さ坂出第一 37505F
し四国学院大学香川西 37509J
尽誠学 37508A
た高松中 37503K
ふ藤井学 37501C
む藤井学 37511A
りR I T A 学 37512J
上記以外の高等学校等 37999K

(高等学校)
え愛媛大学附属 38001G
(特別支援学校)
え愛媛大学教育学部附 38051C
属特別支援
(高等専門学校)
に新居浜工業高専 38091B
ゆ弓削商船高専 38092A
公立
(高等学校)

い今治北 38115C
今治業 38116A
今治西 38113G
今治南 38114E
伊予予業 38154D
伊予予業 38131E
う内字和 38136F
内字和 38142A
内字和 38146C
内字和 38144G
お大洲業 38133A
か大洲業 38134K
か大洲業 38129C
か大洲業 38139A
か大洲業 38101C
き北小字 38149H
さ西条業 38110B
さ西条業 38108A
さ西条業 38109J
たと東土 38112J
な新居浜工 38128E
に新居浜商 38111A
新居浜工 38103K
新居浜工 38135H
新居浜工 38107B
新居浜商 38152H
新居浜東 38105F
新居浜東 38104H
新居浜南 38106D
の野村 38143J
ほ北条山 38121H
ま松山工 38125A
ま松山商 38126J
ま松山中 38155B
ま松山中 38122F
ま松山南 38124B
み三南島 38124D
み三南島 38102A
や八幡浜工 38151K
や八幡浜工 38137D
ゆ弓削工 38138B
ゆ弓削工 38119F
よ吉田 38147A
(中等教育学校)
い今治東 38156A
う字和南 38158G
ま松山西 38157J
(特別支援学校)
い今治特別支 38455A
う字和特別支 38457H
ししげのぶ特別支 38454C
に新居浜特別支 38431D
ま松山盲 38451J
み松山ろう 38452G
みみなら特別支 38456K
私立
(高等学校)
あ愛光 38505A
い今治精 38501J
今治明 38502G
さ済美 38509D
せてカタリナ学 38508F
聖京第五 38510H
に新田 38503E
日本ウェルネス 38514A

ま松山学 38504C
松山東雲 38507H
松山聖陵 38506K
み来 38515J
(中等教育学校)
さ済美平成 38512D
に新田青雲 38513B
上記以外の高等学校等 38999E

高知県
国立
(特別支援学校)
こ高知大学教育学部附 39051J
属特別支援
(高等専門学校)
こ高知工業高専 39091H
公立
(高等学校)

あ安芸 39104C
い伊予商 39119A
い大野方 39139F
く岡豊 39136A
く窪川 39127B
こ高知前 39113B
こ高知津 39115J
こ高知洋 39138H
こ高知北 39117E
こ高知業 39118C
こ高知際 39141H
こ高知業 39135C
こ高知業 39110H
こ高知東 39112D
こ高知業 39111F
さ佐川 39122A
し四万十 39128A
し清城水 39134E
す宿毛工 39106K
す宿毛工 39132J
す宿毛工 39133G
す宿毛工 39140K
す宿毛工 39121C
す宿毛工 39103E
す宿毛村 39130B
す宿毛業 39131A
す宿毛野 39120E
す宿毛戸 39102G
す宿毛山 39107H
す宿毛原 39126D
す宿毛北 39109D
(特別支援学校)
こ高知江の口特別支 39455G
高知特別支 39441G
高知ろう 39452B
高知若草特別支 39454J
な中村特別支 39457C
ひ日高特別支 39456E
も盲 39451D
や山田特別支 39453A
私立
(高等学校)
こ高知知 39504J
高知学 39506E
高知中 39501D
高知女 39505G
せた太平洋学 39507C
と土佐 39502B
と土佐 39510C
と土佐 39503A
め明德 39509K
(特別支援学校)
と特別支援学校光の村 39951F
と土佐自然園

上記以外の高等学校等 39999A

福岡県
国立
(高等専門学校)
あ有明工業高専 40093K
き北九州工業高専 40091C
く久留米工業高専 40092A
公立
(高等学校)

あ朝倉倉 40173A
朝倉陽 40232A
朝倉東 40174K
ありあけ新世 40224K
い育徳館 40105G
い育徳館 40148A
い育徳館 40149J
い育徳館 40185E
う稲築志耕館 40228B
う稲築志耕館 40170G
う稲築志耕館 40135J
お大折風 40223D
お大折風 40163D
お大折風 40216J
お大折風 40129D
お大折風 40130H
か香椎工 40136G
か香椎工 40137E
か香椎住 40207K
か香椎住 40217G
か香椎住 40186C
か香椎住 40230D
か香椎住 40187A
か香椎住 40106E
か香椎住 40118J
か香椎住 40196A
く鞍手竜 40189H
く鞍手竜 40225H
く鞍手竜 40153G
く鞍手竜 40202J
く鞍手竜 40151A
く鞍手竜 40220G
く鞍手竜 40215A
く鞍手竜 40210K
く鞍手竜 40204E
く鞍手竜 40115D
く鞍手竜 40116B
く鞍手竜 40114F
く鞍手竜 40117A
く鞍手竜 40208H
く鞍手竜 40113H
く鞍手竜 40218E
く鞍手竜 40142A
く鞍手竜 40133B
く鞍手竜 40141C
く鞍手竜 40132D
く鞍手竜 40213D
く鞍手竜 40222C
く鞍手竜 40177D
く鞍手竜 40229A
く鞍手竜 40219C
く鞍手竜 40147B
く鞍手竜 40139A
く鞍手竜 40146D
く鞍手竜 40104J
く鞍手竜 40212F
く鞍手竜 40191K
く鞍手竜 40157K
く鞍手竜 40128F
く鞍手竜 40179A
く鞍手竜 40119G
く鞍手竜 40121J
く鞍手竜 40209F
く鞍手竜 40201A
く鞍手竜 40181B
く鞍手竜 40190A
く鞍手竜 40199E
く鞍手竜 40221E
く鞍手竜 40214B

ち 中部農林高等支援 47434H
な 名護特別支援 47456J
那 那覇特別支援 47443G
那 那覇みらい支援 47436D
に 西崎特別支援 47461E
は 南風原高等支援 47433K
は はなさき支援 47435F
み 美咲特別支援 47455A
も 宮古特別支援 47458E
森 森川特別支援 47462C
や やえせ高等支援 47431C
八 八重山特別支援 47460G
よ 陽明高等支援 47432A

私 立

(高等学校)

え N 47509C
お 沖縄カトリック 47507G
沖 沖縄尚学 47501H
こ 興南 47503D
し 昭和薬科大学附属 47505A
せ 仙台育英学園沖縄 47511E
つ つくば開成国際 47510G
ひ ヒューマンキャンパス 47508E
み 瑞穂 M S C 47512C
や 八洲学園大学国際 47506J

上記以外の高等学校等 47999D

2 高等学校卒業程度認定試験等, 外国の学校等, 文部科学大臣の指定した者, 認定, 在外教育施設, 専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに合格見込みの者, 又は令和 5 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験に出願している者
	大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
	高等学校卒業程度認定審査	いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者)であって, 高等学校卒業程度認定審査に合格した者
52000E	外国の学校等	外国において, 学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者, 又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
53000A	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者及び令和 6 年 3 月卒業見込みの者, 国際バカロレア資格取得者, アビトゥア資格取得者, バカロレア資格(フランス共和国)取得者, GCEA レベル取得者, 国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者, その他文部科学大臣の指定した者(旧制諸学校出身者等)
54000F	認定	大学において, 個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 令和 6 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者)であって, 当該者をその後に入学者とする大学において, 大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
55000A	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和 6 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
56000G	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を卒業(修了)した者及び令和 6 年 3 月 31 日までに卒業見込み(修了見込み)の者

こんなときは？

分からない	出願資格（証明書類）	→ p. 6
	出願方法	→ p.11
	志願票の記入方法	→ p.19
	検定料等の払込方法	→ p.25
届かない	確認はがき	→ p.27
	受験票	→ p.31
変更したい	氏名，現住所，電話番号等の変更	→ p.35
再発行してほしい	受験票・成績請求票	→ p.36
追加発行してほしい	成績請求票（国公立総合型選抜用，私立大学・公私立短期大学用のみ）	
過年度の大学入学共通テストの成績を利用する大学に出願したい	過年度成績請求票発行	
高卒認定試験について知りたい	文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係 TEL 03-5253-4111（代）	

大学入学共通テストに関するよくある質問はこちら

「共通テストQ&A（よくある質問）」

<https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/faq.html>

志願者問合せ専用電話（大学入試センター事業第1課）

TEL 03-3465-8600

9:30～17:00（土・日曜，祝日，12月29日～1月3日を除く）

- ※ 出願期間直前，出願期間中，試験期日直前は特に電話回線が混み合います。
- ※ 問合せの際は，手元に受験案内（本冊子）を用意してください。

（電話での問合せが難しい障害等のある方専用FAX）
FAX 03-3485-1771

〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23
独立行政法人 大学入試センター事業第1課

<https://www.dnc.ac.jp/>



非売品